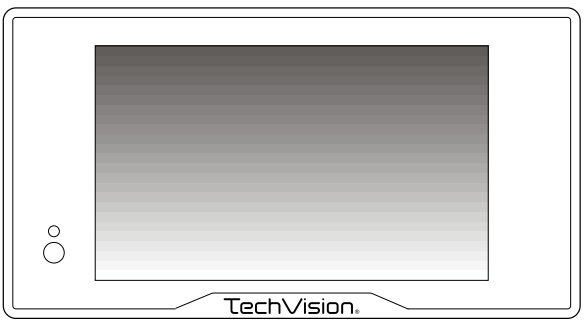
TechVision®

TR-301

GPS セパレートレーダー



取扱説明書

この度は、TechVision GPSセパレートレーダーTR-301をお買い上げ頂きましてありがとうございます。製品の仕様につきましては、十分に気を付けておりますが、誤った使い方をしますと本来の性能を十分に発揮できなかったり、事故やケガの原因となる可能性があります。ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見ることのできるように、お車のグローブボックス等に大切に保管してください。

まずはユーザー登録を。詳しくは48ページへ。

目次

安全上の注意 01-02
使用上の注意 03-04
主な特長/セット内容 05
各部の名称と働き
- ディスプレイ／メインボックス 06
- アンテナ／スピーカー 07
- 電源コード／RCAコード 08
- リモコン 09

取付方法
- 取り付る前に／取付場所の例 10
- 取付場所を決める 11
- ディスプレイの取付
  - ダッシュボードへ取り付ける場合 12
  - ルームミラーへ取り付ける場合 13
  - ダッシュボードに直接取り付ける場合 14
- アンテナの取付
  - ダッシュボードへ取り付ける場合 15
  - ルームミラーへ取り付ける場合 16
- メインボックスの取付 17
- スピーカーの取付 18

配線方法
- 配線図 19
- 配線処理のポイント 20
  電源の取り方
  →シガーライターソケットから電源を取る
- 電源の取り方 21
  →車両のACCから直接電源を取る

ディスプレイの見方 22
電源のON/OFF 23
音量調整 24
AV-IN機能 25
設定内容 26
初期設定
- リモコンの使用方法 27
  リモコンの電池交換
- 待受画面を設定する 28
  画面の明るさを設定する
  時報機能のON/OFFを設定する

GPS警告機能の設定/解除
- オービス・Nシステム・取締ポイント 29
- サービスエリア・パーキングエリア 30
  駐車違反取締地域
- 警察署 31

GPS警告/案内表示 32-33
無線受信機能（無線1）の設定
- カーロケ無線・デジタル無線 34
  署活系無線の設定方法
- WIDE無線・救急無線・消防無線 35
  消防ヘリテレ無線の設定方法
- 取締特小無線・警備無線 36
  警察活動無線の設定方法

無線受信機能（無線2）の設定
- 350.1MHz・ヘリテレ無線 37
  レッカー無線の設定方法
- JH無線の設定方法 38
  レーダー感度を設定する

無線識別受信表示 39-40
その他の設定 GPS対象道路の設定 41
AAC（オートアラームカット）の設定
便利な機能
- 警報音の一時的な消音（ミュート） 42
  サイレントモード機能
  通過速度の確認
  反対車線のレーダー式取締機・Hシステム警告を自動キャンセル
- オートトーンダウン 43
  オートミュート
  日付け案内
  時報案内
  画面の非表示
  デモモードの再生

GPSポイントの登録 44
- 記録ポイントの登録・消去
- レーダーキャンセルポイントの登録・消去
- オリジナルポイントのキャンセル

GPSポイントの一括消去 45
- 記録ポイントの一括消去
- レーダーキャンセルポイントの一括消去
- オリジナルポイントの復元

工場出荷時への完全初期化 46
その他
- GPSデータの更新 47
- ユーザー登録 48
  修理または点検をご依頼いただく際に…

故障かな?と思ったら… 49
取締りのミニ知識 50-51
主な仕様 52
保証規定／保証書 裏表紙

安全上の注意

ご使用になる前の安全上の注意事項

この説明書に記載されている記号の意味を十分に理解して、この「安全上の注意」をよくお読みの上で正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載しています。

■各記号の意味 次の絵表示の区分は、必ずお守りいただく内容を説明しています。

⚠ **危　険** 誤った使い方をすると死亡または重傷等を負う可能性が切迫して想定されるもの。

⚠ **警　告** 誤った使い方をすると死亡または重傷等を負う可能性があるもの。

⚠ **注　意** 誤った使い方をすると傷害を追うおそれ、または物的損害（車両・家屋・家財等に関わる拡大損害）が発生するおそれのあるもの。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

🚫 この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ 危　険

🚫 本製品はDC12/24V車専用です。他の電圧での使用は絶対におやめください。

🚫 運転者は走行中に本製品の操作および画面の注視は絶対にしないでください。交通事故の原因となります。

❗ 万一故障した場合は直ちに使用を中止してください。そのまま使用を続けると、火災や感電の原因となります。

🚫 ペースメーカー等の医療用機器の近くでは使用しないでください。医療用電気機器を誤作動させるおそれがあります。

❗ 万一、煙が出たり異臭がする場合は、ただちに電源を切り使用を中止してください。

🚫 本製品に水をかけたり、濡らしたり、濡れた手で触れないでください。

⚠ 警　告

❗ 運転や視界の妨げにならない場所、またはエアバッグ・ブレーキ・ハンドル等の機能を妨げない場所に取り付けてください。

🚫 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。また、電源コードが傷付いた場合は、直ちに使用を中止してください。

🚫 本製品に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。故障の原因となります。

🚫 本製品の分解・改造は絶対にしないでください。発熱や故障の原因となります。

🚫 濡れた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、濡れた状態のシガーライタープラグを差し込むこともおやめください。

安全上の注意（続き…）

⚠ 注　意

- 車内が極端な低温・高温となる場合は、本製品を取りはずしてください。
- 湿気やホコリの多い所、また高温になる所には保管しないでください。本製品の故障の原因となります。
- 本製品の液晶画面を強く押したり、たたいたりしないでください。液晶画面の故障や破損の原因となります。
- 穴やスキ間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品は日本国内仕様の商品です。海外では使用しないでください。
- 本製品はメッキ・金属を使用していますので、メッキ・金属部分が熱くなる可能性があります。ご使用の際にはお気を付けください。また、経年変化により、メッキ・金属部分が変化する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

使用上の注意

ご使用にあたっての注意事項

ここに示した注意事項は、お使いいただくにあたって事前にご了承いただく内容や注意が必要な内容を記載しています。

⚠ 注　意

・本製品を取り付けている、いないに関わらず、速度違反や駐車違反等に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
・本製品の誤った取扱いによる事故・故障・破損について、当社は一切の責任を負いかねます。
・本製品は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。くれぐれも速度の出し過ぎには注意して走行してください。また、緊急車両が接近した場合は速やかに道を譲ってください。
・本製品は、製品に登録・記録されたデータおよびGPS信号・レーダー波を含む各種無線を受信し、それを基に独自に計算されたデータを利用して警告を行なっています。そのため、登録・記録されていない地点や、GPS測位が不安定・未測位な場合および各種無線が受信できない場合には、警告動作を行なうことができません。また、警告内容と実際の状況が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・本製品使用時に発生した違反等に関して、当社は一切の責任を負いません。交通ルール・マナーを守り、日頃から安全運転を心掛けてください。
・一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わない場合があります。あらかじめご了承ください。
・車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本製品がGPSを測位できなくなることがありますが、故障や不良ではありません。
・一部の地上波デジタルチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等と同時に使用すると、本製品が鳴り続ける場合があります。
・本製品は車載の電装機器（地上波デジタルチューナー・カーナビゲーション・ETC装置等）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本製品の設置位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合がありますが、故障や不良ではありません。その場合は、十分間隔をとって設置してください。
・光電管を使用した有人式の速度取締りや追尾式の取締りに対しては警告することができません。
・本製品の動作温度範囲は-10℃～+65℃です。極端な低温・高温となり、車内がその範囲外の温度になると、正常に動作しなかったり、故障の原因となりますのでご注意ください。万一正常に動作しなくなった場合は、一度リモコンでOFF（OFF時はLED表示部が赤く点灯）し、周囲の温度が下がったら、再度リモコンで電源ONしてください。

■熱反射ガラスについて

・一部車種のウインドーに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波・各種無線の受信がしにくかったり、できない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無はディーラーまたはメーカーにお問い合わせください。

■GPS機能について

・本製品に登録されている各種GPSデータは、公表されているデータを参考に集計・作成しています。
・本製品は、GPSデータ内蔵のレーダー探知機です。あらかじめ収録している取締機の位置情報を基にしているため、光電管式を除いてレーダー波が出ていないオービスにも対応します。
・初めて起動する時・最後の電源OFFから長時間経過後に電源ONした場合・建物の間にいる時・衛星からの電波が十分に受信できない場合等にはGPS測位に時間がかかる場合があります。
・GPS測位ができない状態では、レーダー波と無線受信のみの反応となります。
・GPSポイントが複数隣接している場合、そのいずれかに対する警告が優先されます。そのため、それ以外に対するGPS警告ができなかったり、警告が頻繁に行なわれる場合があります。

■警察署について

・移転・新設等があった場合、本製品でのお知らせと実際の状況が異なります。

■駐車違反取締地域について

・本製品に登録されている駐車違反取締地域は、各警察署から公表されている「駐車監視員活動ガイドラインマップ」より作成しています。したがって駐車禁止の標識やその他標識の設置場所・駐車禁止の指定場所であっても、お知らせしない場合があります。

■取締りポイントについて

・取締りポイントの警告は、取締りの目撃情報に基づいて本製品に登録されたエリアに対しての警告であって、実際に取締りが行なわれていることに対しての警告ではありません。また、警告の前後で取締りを行なっている場合もあります。

使用上の注意（続き…）

■無線受信機能について

・受信した内容を第三者に漏らしたり、その内容を使用することは、電波法第59条により禁じられています。
・受信しても、無線内容がない場合や短い場合があります。
・一部地域では各種無線が配備されていない、またはシステムが異なる・変更される等の理由により、受信できない場合があります。
・各種無線は常に使用されているわけではありません。本製品での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限ります。
・ヘリテレ無線の受信は、ヘリコプターから無線中継所への送信電波です。
・ヘリテレ無線の無線中継所付近では、ヘリコプターの接近に関わらず受信する場合があります。
・レッカー無線は簡易業務用無線のため、同一チャンネル内の他業種無線を連続的に、または頻繁に受信する場合があります。
・本製品は、一部のレッカー業者に割り当てられている簡易業務用無線を受信します。そのため、それ以外のレッカー業者が使用している無線を受信することができません。
・署活系無線はチャンネル数が多く、使用頻度も高いため、連続的な受信や頻繁な受信がされる場合があります。

■カーロケーターシステムについて

・カーロケーターシステムは、全ての警察関係車両に搭載されているわけではありません。また、搭載されていても常時電波を発信していません。
・カーロケーターシステムの受信については、導入されていない地域、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

■レーダー受信について

・前に走行している車（特に大型車）がある場合や、コーナー・坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、特にご注意ください。
・待機時には電波を出さず、対象の車が近くに来るまで電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。そのため、感知できなかったり、通過後に警報が始まる場合がありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
・電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車両通過計測器等は、取締りレーダーと同じ電波を使用しているため反応する場合がありますが、故障や不良ではありません。
・設置されている取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類でもお知らせすることができない場合があります。
・取締り準備中や取締り終了後等で、スピード測定装置からレーダー波が発射されていない場合があります。このような時は反応しません。

■ディスプレイについて

・ディスプレイで長時間同じ映像を表示したり、（短時間でも）繰り返し表示した場合、表示跡が残る「焼き付け」現象が発生する場合があります。これらはディスプレイの特性によって起こる現象であり、故障や不良ではありません。（焼き付けは完全に消すことはできません。）ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼き付けの発生を軽減することができますが、本現象のディスプレイの修理は保証対象外ですので、あらかじめご了承ください。
・ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。また、すじ状の色ムラや明るさのムラが見える場合があります。これらはディスプレイの特性・構造上のものであり、故障や不良ではありません。本現象のディスプレイの修理は保証対象外ですので、あらかじめご了承ください。
・ディスプレイを太陽に向けたままにすると、故障の原因となります。車に設置する際にはご注意ください。

■アンテナについて

・アンテナは防水構造ではありません。必ず車内へ設置してください。

■AV-INについて

・AV-IN画面の際、出力の機器によっては、一部ノイズを拾うことがありますが、故障ではありません。
・AV-IN画面の際、出力の機器によっては、音が割れることがありますが、故障ではありません。

主な特長／セット内容

■AV-IN機能搭載　付属のRCA変換コードを利用することで、ナビゲーションやDVD、ポータブルオーディオ等の画像をレーダーのディスプレイに映し出すことが可能です。

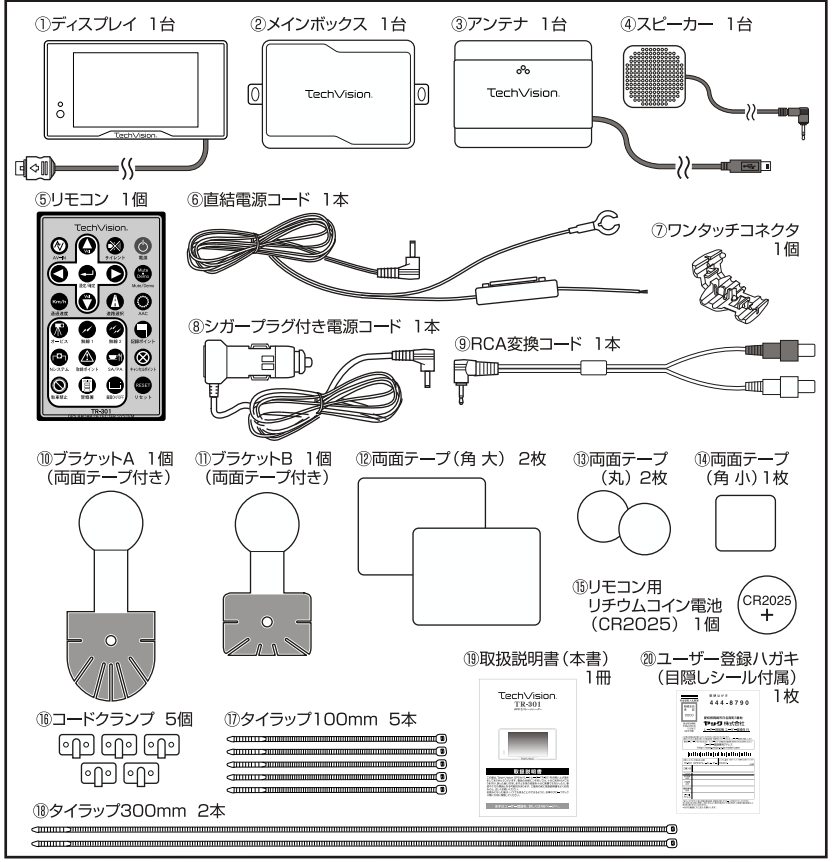
■大画面2.8インチIPS液晶ディスプレイ　大画面の2.8インチIPS液晶で、薄くスタイリッシュなデザイン。

■独立型スピーカー　ボイス・警告音を聞きやすい場所で確認できる独立型スピーカー。

■選べる取り付け　専用の取付ブラケットを2タイプ付属。ダッシュボードへの取り付け、ルームミラーへの取り付けからお好きな取り付けを選択可能。

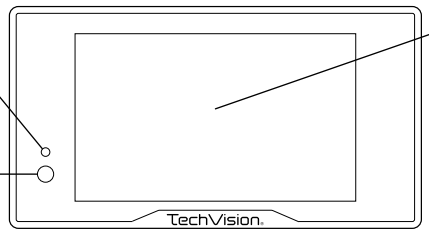
■DC12V車／24V車対応　普通車等の12V車はもちろん、4WD車やトラック等の24V車でも使用可能です。

セット内容　ご使用前にセット内容をお確かめください。



■ディスプレイ

正 面

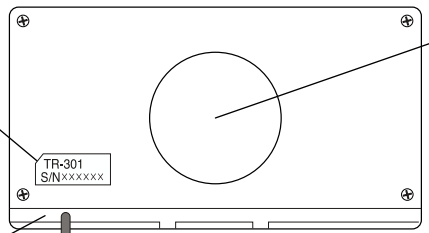


2.8インチ液晶画面
各種表示をします。

LED表示部
各種内容により、
赤・緑・青に
点灯・点滅します。

リモコン受光部
リモコンからの
電波を受信します。

背 面



ブラケット貼付位置
付属のブラケットを
貼り付ける位置です。

シリアル番号

コード逃がしミゾ
配線しやすい方向に
コードを逃がすことが
できます。

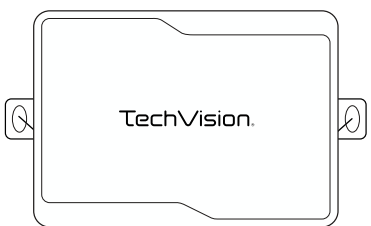
DSPケーブル 約3.0m

メインボックス
「DSP」へ

専用平型プラグ

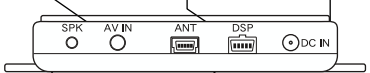
■メインボックス

天 面



タイラップ通し穴
タイラップで固定する際に使用します。

手前側面



DC INジャック
直結電源コードまたは
シガープラグ付き電源コードの
φ3.5ミニプラグを差し込みます。

AV INジャック
付属のRCA変換コードの
φ3.5ミニプラグを
差し込みます。

DSPジャック
ディスプレイからの
専用平型プラグを
差し込みます。

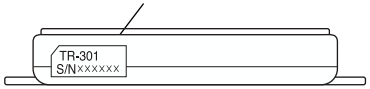
スピーカージャック
スピーカーからの
φ2.5ミニプラグを
差し込みます。

ANTジャック
アンテナからの
ミニUSBプラグを
差し込みます。

右側面

ON/OFFスイッチ
電源の
ON/OFFをします。

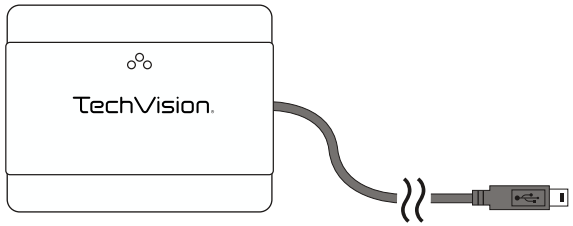
奥側面



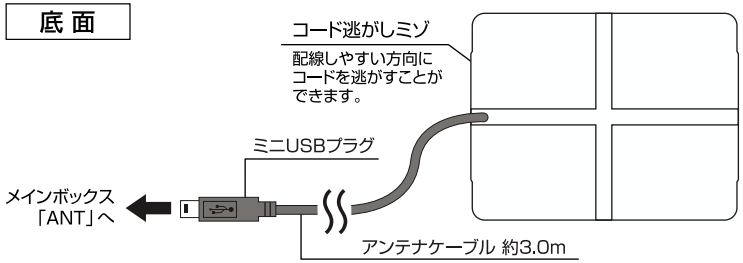
シリアル番号

■アンテナ

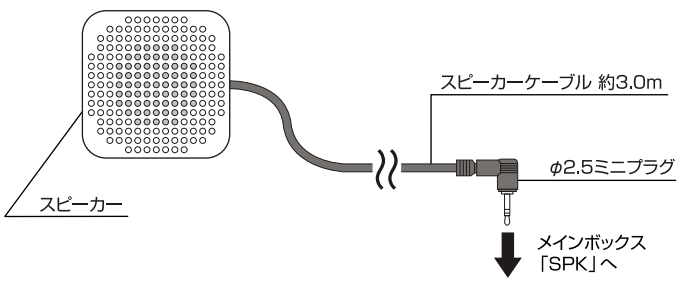
天 面



底 面



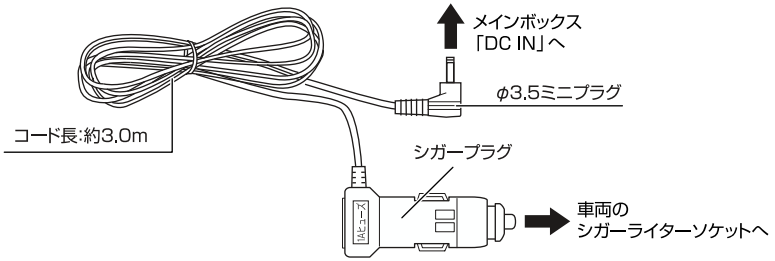
■スピーカー

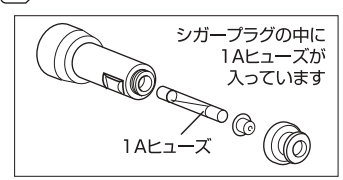


■電源コード（2タイプが同梱されています）

シガープラグ付き電源コード

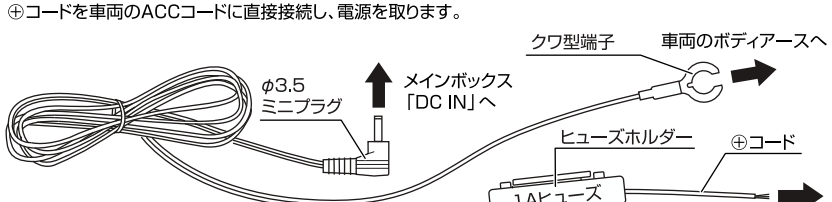
シガープラグを車両のシガーライターソケットに差し込み、電源を取ります。

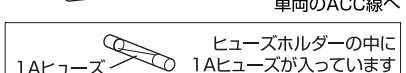




直結電源コード

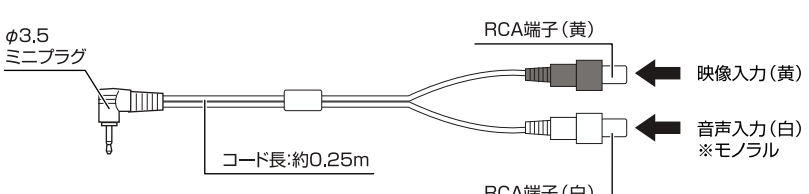
⊕コードを車両のACCコードに直接接続し、電源を取ります。





■RCA変換コード

外部出力端子を持つAV機器に接続し、レーダーのディスプレイに映像を映し出します。

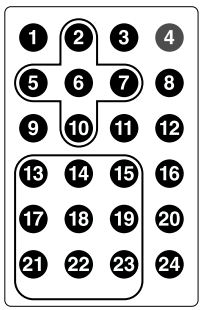


■リモコン

リモコン送信部

（リモコン裏面）電池ホルダー
電池交換時に引き出します。
※電池の交換方法については、
27ページを参照してください。

ボタンNo.対照表



1 AV-IN（25ページ）
・外部入力端子を接続している場合、AV-INの画像とレーダー待受画面とを切り替える。

2 Vol（24ページ）
・ボリュームを上げる。
・設定画面で上のメニューを選択する。

3 サイレント（43ページ）
・サイレントモードの設定。
・全ての警告音声を消音、再入力で解除。

4 電源（23ページ）
・電源のON/OFF。

5（28ページ）
・設定画面で左にスクロール。

6 設定/確定（28ページ）
・設定画面を表示。
・各種内容の確定。

7（28ページ）
・設定画面で右にスクロール。

8 Mute Demo / Mute/Demo（42・43ページ）
・警告中に押すと警告音をミュート。
・待受画面で長押し（約5秒）するとデモ画面に切り替え。
・デモ画面で長押し（約5秒）すると待受画面に戻る。

9 Km/h 通過速度（42ページ）
・通過速度の確認。（音声のみ）

10 Vol（24ページ）
・ボリュームを下げる。
・設定画面で下のメニューを選択する。

11 道路選択（41ページ）
・「道路選択」設定画面を表示。

12 AAC（41ページ）
・「AAC」設定画面を表示。

13 オービス（29ページ）
・「オービス」設定画面を表示。

14 無線1（34・36ページ）
・「無線1」（カーロケ無線・デジタル無線・署活系無線・WIDE無線・救急無線・消防無線・消防ヘリテレ無線・取締特小無線・警備無線・警察活動無線）の設定画面を表示。

15 無線2（37・38ページ）
・「無線2」（350.1MHz・ヘリテレ無線・レッカー無線・JH無線・レーダー感度）の設定画面を表示。

16 記録ポイント（44ページ）
・「記録ポイント」の登録。

17 Nシステム（29ページ）
・「Nシステム」の設定画面を表示。

18 取締ポイント（29ページ）
・「取締ポイント」の設定画面を表示。

19 SA/PA（30ページ）
・「サービスエリア」「パーキングエリア」の設定画面を表示。

20 キャンセルポイント（44ページ）
・「レーダーキャンセルポイント」の登録。
・撤去されたカメラポイントの登録。

21 駐車禁止（30ページ）
・「駐車違反取締地域」の設定画面を表示。

22 警察署（31ページ）
・「警察署」設定画面を表示。

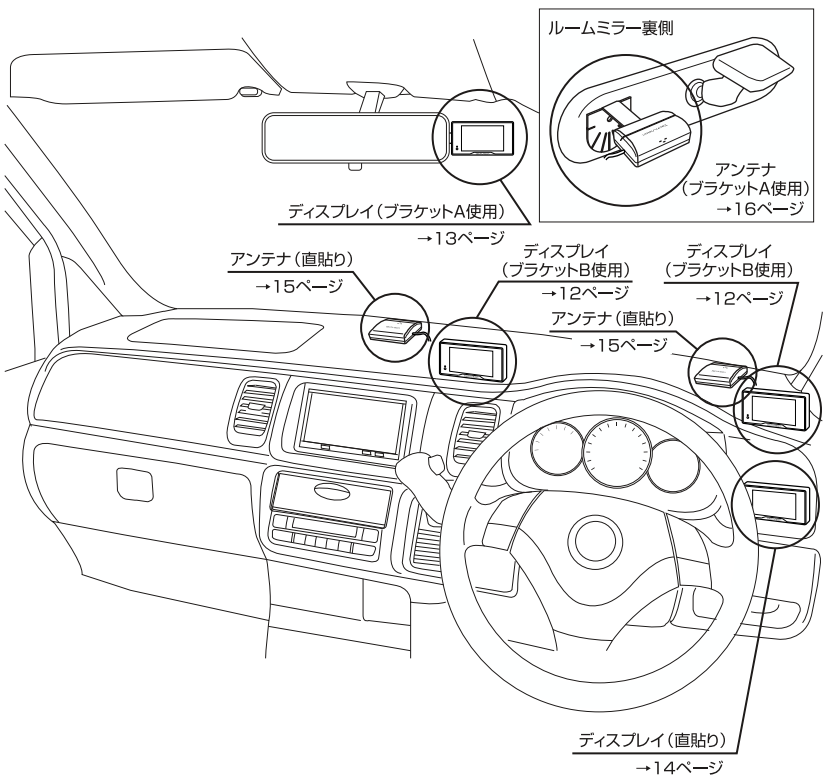
23 画面ON/OFF（43ページ）
・画面の表示／非表示の設定。

24 RESET リセット（45・46ページ）
・ユーザー設定のポイントを一括解除。
・長押し（約3秒）で、全ての設定を工場出荷時の状態にALLリセット。

取り付ける前に…

本製品は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせするものです。そのため、取付場所によっては正常に動作しないことがあります。取り付けの際は、ご希望の取付場所において、正常にGPS信号とレーダー波が受信できるかどうかを確認してから取付作業を始めてください。

取付場所の例



注意 ・本製品をガラス面およびルームミラーに取り付けた場合、車検には適合しません。

■取付場所を決める

ディスプレイの取付場所	アンテナの取付場所
ダッシュボード	ダッシュボード
	ルームミラー
ルームミラー	ダッシュボード

本製品は、ダッシュボードへの取り付け、またはルームミラーへの取り付けの2通りからお好きな取り付けを選択することができますが、本製品のアンテナはGPS受信の観点から、車両によって取付場所に向き・不向きがあります。ここでは、ディスプレイとアンテナの取付場所を決めます。

注意 ・ディスプレイとアンテナをルームミラーへ同時に取り付けないでください。

■仮通電する

19ページを参照し、シガープラグを使用して仮配線し、エンジンをかけて電源ONします。その後、23ページを参照して正しく起動されることを確認してください。

■アンテナをルームミラーへ取り付ける場合の確認作業

取り付ける車両のルームミラーの位置関係によっては、GPS信号を適切に受信できず、ルームミラーへの取り付けが不可能な場合があります。ルームミラーへのアンテナ取り付けをご希望の場合は、取付作業を始める前に適切にGPSが受信できるかどうかの確認が必要です。

1 配線後、レーダーをダッシュボード等に置き、GPSを受信できていることを確認します。

本製品は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせするものです。そのため、アンテナの上や前（車の進行方向）に金属等の障害物があると受信に支障をきたし、正常に動作しません。15ページを参照し、設置場所の上や前（車の進行方向）に障害物がないことを確認の上、仮設置してください。

注意 ・初めてお使いになる場合、GPSを測位するまでに数分かかる場合があります。

2 ミラーの後ろ側（フロントウインドー側）にアンテナを手で持って位置付け、GPSが受信できているか確認します。

GPSを受信できている場合

↓

アンテナのルームミラー取り付けが可能

↓

取り付け作業を始めます

注意 ・アンテナをルームミラーへ取り付ける場合、ディスプレイの取付場所はダッシュボードになります。

GPSが受信できない場合

↓

アンテナのルームミラー取り付けは不可能

↓

アンテナの取付場所はダッシュボードに決定

↓

取り付け作業を始めます

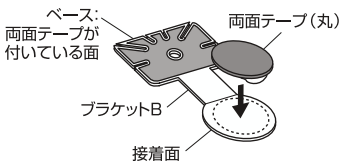
ディスプレイの取付

■ダッシュボードへ取り付ける場合

1 ダッシュボード上の取付位置を決めます。

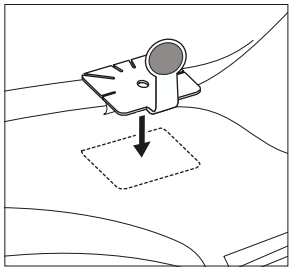
2 ブラケットBのベースに両面テープが付いている面の接着面に両面テープ（丸）の保護紙をはがして貼り付けます。

3 ブラケットBを、図のようにベースに両面テープが付いていない側に曲げて角度を調整します。



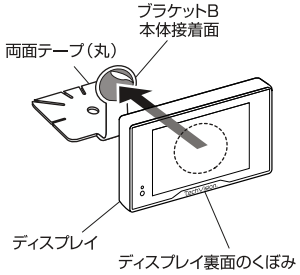
4 ディスプレイ背面およびダッシュボード貼り付け面のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。

5 ブラケットBのベースにあらかじめ付いている両面テープの保護紙をはがし、1 で決めたダッシュボードの取付位置に一度でしっかりと貼り付けます。



6 取り付けたい場所の配線を想定して、ディスプレイ背面のコード逃がしミゾの方向を選択します。

7 6 で決めたコード逃がしミゾからディスプレイのコードを逃がし、2 で貼り付けた両面テープ（丸）の保護紙をはがしてディスプレイ背面の丸いくぼみを合わせて貼り付け、ブラケットBにディスプレイを固定します。



注意
- ディスプレイの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ水平・平らな場所に取り付けてください。
- 革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
- ブラケットBにディスプレイを固定する際、液晶面を強く押さないでください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではディスプレイに強い力を加えないでください。
- 両面テープを貼り付け面からはがす場合は、内装を損なわないよう十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
- 車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
- 強い衝撃を与えないようご注意ください。
- コードを引っぱったり、挟んだりしての使用や、コードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。

ディスプレイの取付

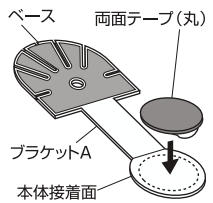
■ルームミラーへ取り付ける場合

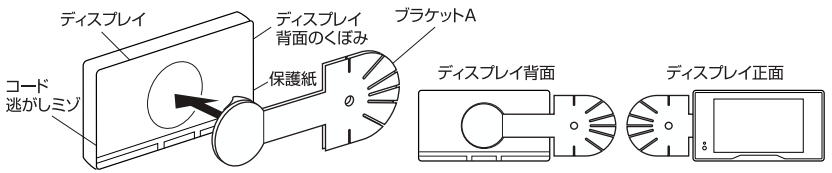
1 ブラケットAのベースに両面テープが付いている側の本体接着面に両面テープ（丸）の保護紙をはがして貼り付けます。

2 ディスプレイ背面およびルームミラー裏面の貼付位置のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。

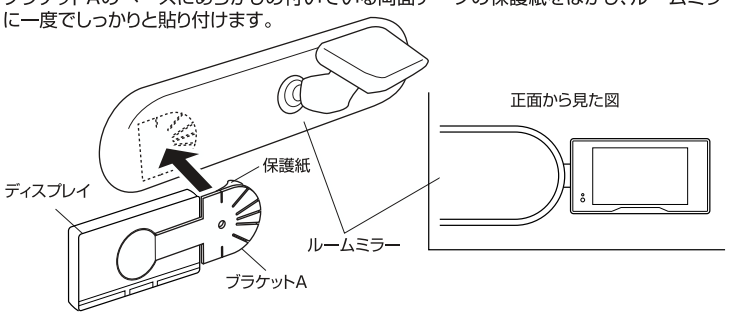
3 取り付けたい場所の配線を想定して、ディスプレイ背面のコード逃がしミゾの方向を選択します。

4 3 で決めたコード逃がしミゾからディスプレイのコードを逃がし、図のような向きになるように、1 で貼り付けた両面テープ（丸）の保護紙をはがし、ディスプレイ背面の丸いくぼみを合わせて貼り付け、ブラケットAにディスプレイを固定します。





5 ブラケットAのベースにあらかじめ付いている両面テープの保護紙をはがし、ルームミラーの裏側に一度でしっかりと貼り付けます。

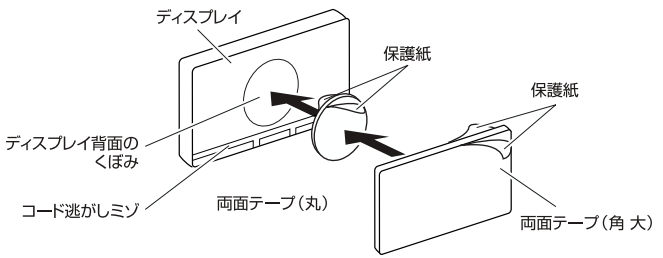


注意
- ディスプレイをルームミラーに取り付けた場合、サンバイザーが使用できなくなる場合があります。
- ディスプレイをルームミラーに取り付けた場合、市販のルームミラーと干渉し、市販のルームミラーが取り付けできなくなる場合があります。
- ディスプレイの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ平らな場所に取り付けてください。
- 必ず純正ルームミラーに取り付けてください。市販のルームミラーへの取り付けは、脱落の原因となります。
- 革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
- ブラケットAにディスプレイを固定する際、液晶面を強く押さないでください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではディスプレイに強い力を加えないでください。
- 両面テープを貼り付け面からはがす場合は、十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
- 車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
- 落下等強い衝撃を与えないようご注意ください。
- コードを引っぱったり、挟んだりしての使用やコードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。

ディスプレイの取付

■ダッシュボードに直接取り付ける場合

1 ディスプレイ背面および貼付位置のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。
2 取り付け後の配線を想定して、ディスプレイ背面のコード逃がしミゾの方向を選択します。
3 2で決めたコード逃がしミゾからディスプレイのコードを逃がし、両面テープ（丸）の保護紙をはがしてディスプレイ背面の丸いくぼみに貼り付けます。
4 貼り付けた両面テープ（丸）の保護紙をはがします。
5 その上から両面テープ（角 大）の保護紙をはがして貼り付けます。



5 ディスプレイに貼った両面テープ（角　大）の保護紙をはがし、ディスプレイを取付位置に一度でしっかりと貼り付けます。

注 意
・ディスプレイの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ平らな場所に取り付けてください。
・革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
・両面テープ貼り付け時やダッシュボードへの固定の際、液晶面を強く押さないでください。
・両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
・両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではディスプレイに強い力を加えないでください。
・両面テープを貼り付け面からはがす場合は、十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
・車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
・強い衝撃を与えないようご注意ください。
・コードを引っぱったり、挟んだりしての使用やコードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。

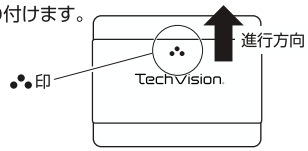
アンテナの取付

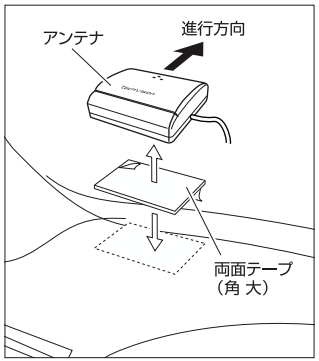
■ダッシュボードへ取り付ける場合

1 ダッシュボード上の取付位置を決めます。

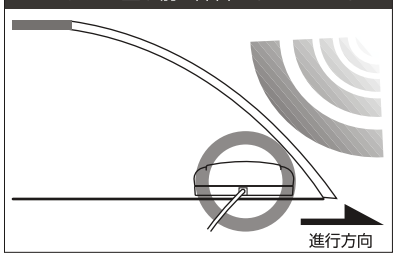
本製品は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせするものです。そのため、アンテナの上や前（車の進行方向）に金属等の障害物があると受信に支障をきたし、正常に動作しません。設置場所の上や前（車の進行方向）に障害物がないことを確認の上、設置してください。

2 アンテナ底面およびダッシュボード貼り付け面のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。
3 取り付け後の配線を想定して、アンテナ底面のコード逃がしミゾの方向を選択します。
4 3で決めたコード逃がしミゾからアンテナのコードを逃がし、アンテナ底面に両面テープ（角　大）の保護紙をはがして貼り付けます。
5 進行方向に●●印がくるようにして、アンテナ底面に貼り付けた両面テープ（角　大）の保護紙をはがしてアンテナを一度でしっかりと貼り付けます。

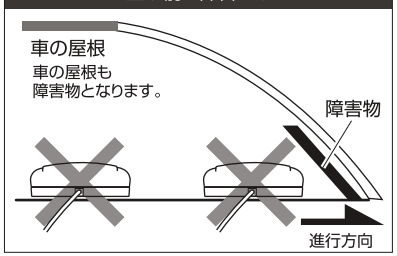




正しい取付位置
→アンテナの上や前に障害となるものがない



不適切な取付位置
→アンテナの上や前に障害となるものがある



注 意
・アンテナの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ水平・平らな場所に取り付けてください。
・革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
・両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
・両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではアンテナに強い力を加えないでください。
・両面テープを貼り付け面からはがす場合は、内装を損なわないよう十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
・車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
・強い衝撃を与えないようご注意ください。
・一部の車種に採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低くGPS信号やレーダー波を受信しにくかったり、受信できない場合があります。熱反射ガラス使用の有無はディーラーやメーカーにお問い合わせください。
・コードを引っぱったり、挟んだりしての使用やコードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。

アンテナの取付

■ルームミラーへ取り付ける場合

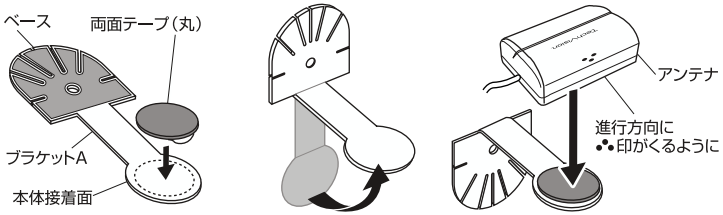
1 アンテナ底面およびルームミラー裏面の貼り付け位置のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。

2 ブラケットAのベースに両面テープが付いている面の接着面に両面テープ（丸）の保護紙をはがして貼り付けます。

3 ブラケットAを、両面テープが付いていない側に曲げて角度を調整します。

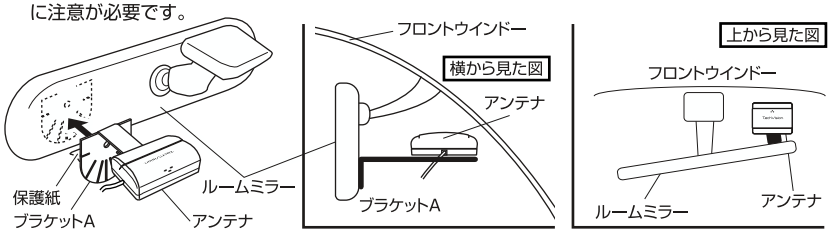
4 取り付け後の配線を想定して、アンテナ底面のコード逃がしミゾの方向を選択します。

5 4で決めたコード逃がしミゾからアンテナのコードを逃がし、進行方向に ∴ 印がくるようにして、2で貼り付けた両面テープ（丸）の保護紙をはがしてブラケットAにアンテナを貼り付けます。



※アンテナがなるべく水平になるように角度を調整してください。

6 ブラケットAのベースにあらかじめ付いてる両面テープの保護紙をはがし、アンテナがフロントウインドーに対して平行になるように注意しながらルームミラーの裏側に一度でしっかりと貼り付けます。ルームミラーが角度調整されている等、フロントウインドーに対して平行になっていない場合は特に注意が必要です。



注意
- アンテナをルームミラーに取り付けた場合、市販のルームミラーと干渉し、市販のルームミラーが取り付けできなくなる場合があります。
- アンテナの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ水平・平らな場所に取り付けてください。
- 必ず純正ルームミラーに取り付けてください。市販のルームミラーへの取り付けは、脱落の原因となります。
- 革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではアンテナに強い力を加えないでください。
- 両面テープを貼り付け面からはがす場合は、十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
- 車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
- 落下等強い衝撃を与えないようご注意ください。
- 一部の車種に採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低くGPS信号やレーダー波を受信しにくかったり、受信できない場合があります。熱反射ガラス使用の有無はディーラーやメーカーにお問い合わせください。
- コードを引っぱったり、挟んだりしての使用やコードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。

メインボックスの取付

両面テープ（角 大）を使用した車内への貼付固定、またはタイラップ300mmを使用した取り付けの2通りからお好きな取り付けを選択することができます。

■両面テープで固定する場合

メインボックスのON/OFFスイッチ操作を頻繁に行ないたい場合は、こちらの取り付けがおすすめです。

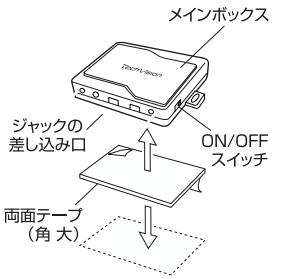
1 メインボックスの取付位置を決めます。

2 メインボックス底面および貼り付け面のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。

3 メインボックス底面に両面テープ（角 大）の保護紙をはがして貼り付けます。

4 メインボックス底面に貼り付けた両面テープ（角 大）の保護紙をはがし、取付位置に一度でしっかりと貼り付けます。

注意
- メインボックスを立てて取り付ける場合は、プラグ類の抜けを防止するため、ジャックの差し込み口が上になるように取り付けてください。
- 取り付ける場所により、車両ノイズを拾う場合があります。
- メインボックスの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ平らな場所に取り付けてください。
- 革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではメインボックスに強い力を加えないでください。
- 両面テープを貼り付け面からはがす場合は、内装を損なわないよう十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
- 車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
- 強い衝撃を与えないようご注意ください。



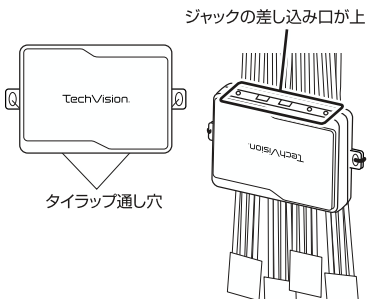
■タイラップで固定する場合

ハンドル下のカバー内側等の見えない場所にメインボックスを隠して固定したい場合はこちらの取り付けがおすすめです。

1 メインボックスのタイラップ通し穴に、タイラップ300mmをそれぞれ通します。

2 ハーネスの束や車両の取付部分にタイラップ回し、タイラップを締めて固定します。

注意
- メインボックスを立てて取り付ける場合は、プラグ類の抜けを防止するため、ジャックの差し込み口が上になるように取り付けてください。
- 取り付ける場所により、車両ノイズを拾う場合があります。
- 車両側配線に無理な力が加わらないように注意してください。



取付方法（…続き）

スピーカーの取付

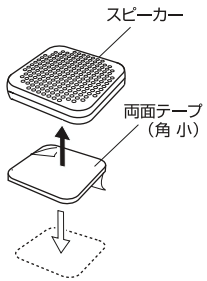
1 スピーカーの取付位置を決めます。

2 スピーカー底面および貼り付け面のゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナーできれいに拭き取ります。

3 スピーカー底面に両面テープ（角 小）の保護紙をはがして貼り付けます。

4 スピーカー底面に貼り付けた両面テープ（角　小）の保護紙をはがし、取付位置に一度でしっかりと貼り付けます。

注 意
- スピーカーの取り付けやコードの取り回しは、運転操作や視界の妨げになる場所、突起物として危険の生じる場所、安全装置（エアバッグ・シートベルト等）の作動・効果の妨げになる場所等には取り付けないでください。また、万一落下した場合でも運転操作に支障のない、できるだけ水平な場所に取り付けてください。
- 純正スピーカーやナビゲーション・ETC装置等の付近にスピーカーを設置すると、ハウリングを起こす可能性があります。できるだけそれらとは離れた場所に設置してください。
- 革・木・布・塗装面等の部分への貼り付けや強い曲面への貼り付け・両面テープの貼り直しは脱落の原因となりますのでおやめください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けないようご注意ください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまではスピーカーに強い力を加えないでください。
- 両面テープを貼り付け面からはがす場合は、内装を損なわないよう十分ご注意の上ゆっくりとはがしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリはがし剤をご使用ください。
- 車種によっては取り付け部分が多少変色したり、取り付け跡が残ったりする場合があります。
- 強い衝撃を与えないようご注意ください。
- コードを引っぱったり、挟んだりしての使用やコードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。

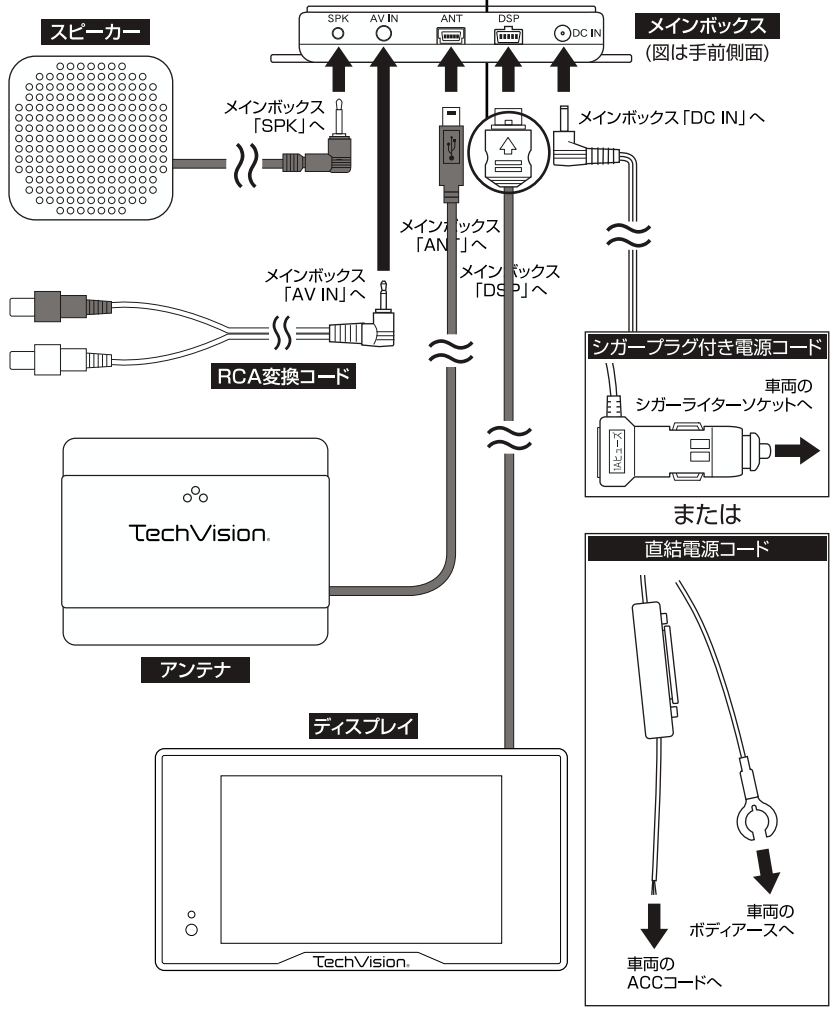


配線方法

配線図

配線図に従って、正しい配線を行なってください。

注 意 ・ディスプレイの専用平型プラグは「△」マークがある方が必ず上になるように差し込んでください。上下を間違えると、ショートするおそれがあります。



配線処理のポイント

1 コード類は運転操作の妨げにならないように付属のコードクランプを使用して配線してください。

2 余分なコードは付属のタイラップ100mmでしっかりと束ねてください。

3 ガラスと内張り等のスキ間やパッキン類・モール類のスキ間に入れるときれいに配線処理ができます。

注意
・コードを引っぱったり、挟んだりしての使用や、コードの上に重い物を載せないでください。発熱や断線の原因となります。
・コードを束ねる際は、ノイズ等の影響を極力避けるため、部品コードごとに束ねてください。
・コード類はシートレール付近やフロアマットの下には配線しないでください。負荷がかかりやすく、断線するおそれがあります。

電源の取り方

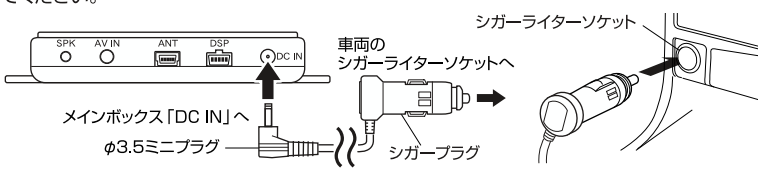
シガープラグ付き電源コードで車両のシガーライターソケットから電源を取る方法、または直結電源コードで車両のACCから直接電源を取る方法の2通りから選択することができます。

■シガーライターソケットから電源を取る場合

1 車のエンジンを切った状態で、車のシガーライターソケット内のゴミ等をよく取り除いてください。汚れていると接触不良の原因となります。

2 シガープラグ付き電源コードのφ3.5ミニプラグをメインボックスの「DC IN」に差し込みます。

3 シガープラグ付き電源コードのシガープラグをシガーライターソケットの奥までしっかりと差し込んでください。



警告
・急ブレーキや悪路走行時等によりシガープラグとシガーライターソケットがゆるみ確実な通電が確保できなくなる場合があります。また、シガープラグが奥まで差し込まれていないと接触不良を起こし発熱する場合がありますので大変危険です。定期的にシガープラグがシガーライターソケットの奥まで差し込まれているか確認してください。

注意
・キーを抜いてもシガーライターの電源が切れない車種で車から離れる場合は、必ずシガープラグをシガーライターソケットから抜くか、メインボックスの電源をOFFにしてください。
・誤った取り付け・分解・改造等は故障・破損・感電・ショートの原因となります。そのような場合による損害の責任は一切負いかねます。
・シガープラグの中には、安全のためヒューズ（1A）が入っています。
・シガープラグをシガーライターソケットに差し込んだまま回転させないでください。抜けなくなったり、破損する場合があります。
・シガープラグをシガーライターソケットから抜く際は、指でシガーライターソケットを押さえながら徐々に抜いてください。
・電源がONの状態でシガープラグ付き電源コードのΦ3.5ミニプラグの抜き差しはしないでください。

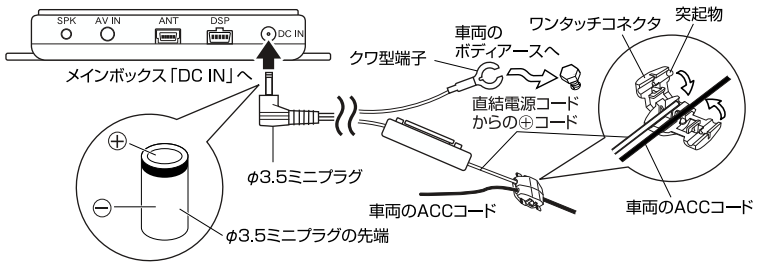
■車両のACCから直接電源を取る場合

この配線方法を実践するには、自動車と電気に関する知識が必要です。
無理な作業は避け、カー用品店等へ取り付けを依頼してください。

1 テスター等を使用して、車のエンジンを「ACC ON」にした時に「12/24V」、「OFF」にした時に「0V」になるACCコードを探します。

2 ACCコードに直結電源コードからの⊕コードを付属のワンタッチコネクタで結線します。この時、直結電源コードからの⊕コードがワンタッチコネクタの突起物がある方にくるようにセットしてください。

3 直結電源コードからのクワ型端子を車体のアースの取れる金属部分のボルト等に共締めします。



4 ACCをONにして、Φ3.5ミニプラグにテスターを当て、12Vまたは24Vが来ているか確認します。

5 直結電源コードのφ3.5ミニプラグをメインボックスの「DC IN」に差し込み、通電を確認してください。

注意
・ACCコードがわからない場合は、ディーラーで確認してください。
・電源がONの状態で直結電源コードのΦ3.5ミニプラグの抜き差しはしないでください。

配線ができたら…

電源が取れたら、配線に異常がないか確認し、19・23ページの「電源のON/OFF」を参照して通電させ、GPSを測位するまでお待ちください。初めてお使いになる場合、GPS測位に数分かかる場合があります。

注意
・異臭・発熱・変形等の異常が起きた場合は、製品の使用を直ちに中止してください。
・コードの配線に注意してください。誤った配線をしますと故障の原因となります。
・誤った取り付け・分解・改造等は故障・破損・感電・ショートの原因となります。そのような場合による損害の責任は一切負いかねます。
・配線後、接続部の緩みや配線の可動部への接触や噛み込みがないことを確認してください。

ディスプレイの見方

待受画面　待受画面の表示内容についてご説明します。（説明用表示のため、実際の画面とは異なります。）

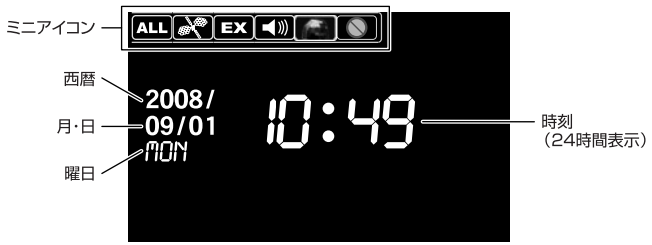
■標準

標準待受画面には昼モードと夜モードがあり、切り替わり時間は日照によって月ごとに異なります。

注意 ・走行時速はGPSからの算出速度のため、参考値です。実測値とは異なりますのでご了承ください。

■時間日付

昼モードと夜モードはありません。



■緯度経度

昼モードと夜モードはありません。

■ミニアイコン

①警告・案内対象道路	②GPS受信状況	③レーダー受信感度	④音声ON/OFF
HIGH 高速道路のみ	GPS受信	EX エクストラモード	音声ON
CITY 一般道路のみ	GPS未受信	UL ウルトラモード	音声OFF
ALL 全ての道路		SU スーパーモード	

⑤カーロケ圏内にいる時に表示

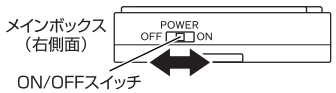
⑥駐車違反取締地域内である時に表示

電源のON/OFF

■電源のON/OFF

1 車両のエンジンを始動します。

2 メインボックスのON/OFFスイッチまたはリモコンの「電源」ボタンで電源のON/OFFを行ないます。



■リモコンによる電源のON

リモコンによる電源のON操作は、リモコンで電源OFFした後に有効になります。

※メインボックスのON/OFFスイッチがONの状態で作動します。

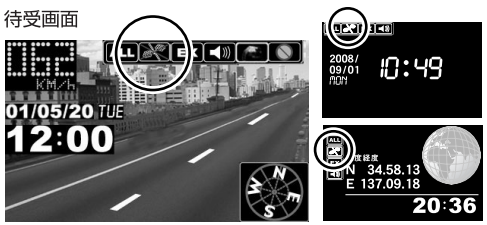
■電源ON後の画面表示

電源が入ると、オープニング画面が表示されます。

オープニング画面

オープニング画面に続いて ピッピッピッ『 ♪シートベルトを確認し、安全運転をお願いします 』というボイスが流れて待受画面になり、GPSをサーチし始めます。

待受画面



GPSサーチ中は、左記のアイコンおよびLED（赤）が点滅します。

注意 ・お買い求め後、初めてお使いになる場合、GPS測位に時間がかかる場合があります。GPS測位に20分以上かかる場合は、アンテナ配線を確認し、再度電源を入れ直してください。

GPSを測位すると、 アイコンの点滅とLED（赤）の点滅から アイコンとLED（赤）の点灯に変わり、ボイスが流れます。

ボイスは時間帯によって3パターンあり、日照に合わせてその時間帯も月によって異なります。

朝 『 ♪GPSを測位しました おはようございます ○月○日○曜日です 』

昼 『 ♪GPSを測位しました ○月○日○曜日です 』

夜 『 ♪GPSを測位しました こんばんは 夜間の運転はご注意ください ○月○日○曜日です 』

注意 ・GPS未測位時はボイスアナウンスはしません。GPS測位後、ボイスアナウンスします。
・初めて起動する時・長時間使用しなかった時・建物の間にいる時・衛星からの電波が十分に受信できない場合等にはGPS測位に時間がかかる場合がありますので、ご注意ください。
・オープニング画面後の待受画面表示は、GPS未測位の状態では時間等が正確に表示されない場合があります。

音量調整

音量の調整

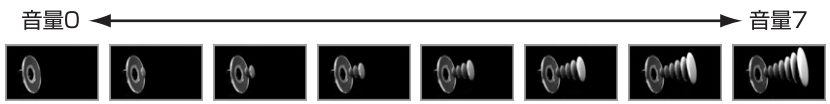
スピーカーからの音量を8段階（音量0～音量7）で調整することができます。

■音量の調整

液晶画面が待受状態の時にリモコンの「 vol」ボタン・「 vol」ボタンを押して音量を調整してください。

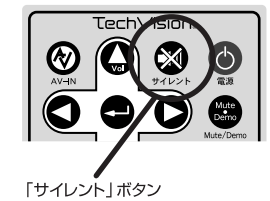
「 vol」ボタンを押すと音量が上がり、「 vol」ボタンを押すと音量が下がります。

注 意 ・AV-IN時での音量調整の際は、下記の表示はされません。



「音量0」の場合でも、音声は完全には消えません。完全な無音にしたい場合は、リモコンの「 サイレント」ボタンを押してください。

※サイレントモードについては42ページを参照してください。



AV-IN機能

AV-IN機能について

本製品は、ナビゲーション・ポータブルオーディオ等に付属のRCA変換コードを接続して、それらの映像・音声をレーダーのディスプレイに映し出すことが可能です。

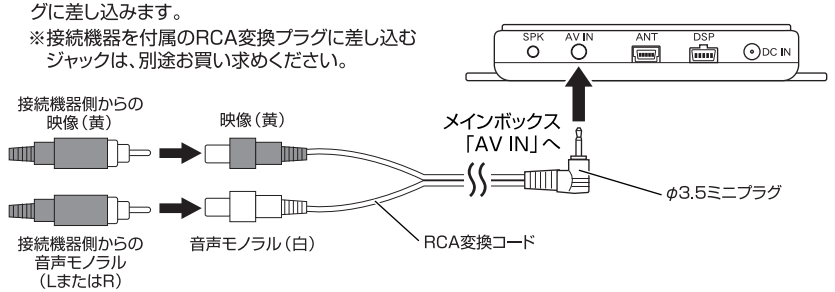
※音声モノラル／映像 NTSC方式1V（p-p）75Ωコンポジット信号

■配線方法

1 付属のRCA変換コードのジャックにナビゲーション・ポータブルオーディオ等からアウトプットされたRCAプラグを接続します。

2 外部入力機器を接続した付属のRCA変換コードのφ3.5ミニプラグをメインボックスのAV-INプラグに差し込みます。

※接続機器を付属のRCA変換プラグに差し込むジャックは、別途お買い求めください。



■表示方法

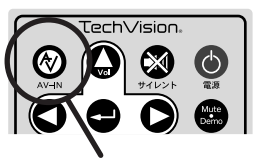
リモコンの「 AV-IN」ボタンを押して映像を切り替えます。

切り替わると、

『 ♪AV-IN 設定しました 』とボイスでご案内します。

もう一度「 AV-IN」ボタンを押すと待受画面に戻り、

『 ♪AV-IN 解除しました 』とボイスでご案内します。



注 意 ・AV-IN機能は、外部出力端子がある機種のみ対応します。
・ディスプレイに映し出された映像の縦横比は、実際と異なる場合があります。
・一部の機種では、音が飛んだり、映像が出ないことがありますが、故障ではありません。
・一部の機器では、オルタネーターノイズが入ることがありますが、故障ではありません。ノイズが入る場合、市販のノイズフィルター等を使用してください。
・AV-INの映像を使用している時は、各種設定ができません。

■AV-IN時のリモコン操作について

AV-IN時に使用できるリモコンボタンは、「 vol」ボタン・「 vol」ボタン・「 サイレント」ボタン・「 Mute/Demo」ボタンのみです。その他のリモコンボタンは機能しませんので、操作したい時は、一旦待受画面に戻して行なってください。

「vol」ボタン:
（24ページ）
音量調整を
行なう

※AV-INとレーダーの音量は同一です。

「サイレント」ボタン:（42ページ）
→音量を0（無音）にする

「Mute/Demo」ボタン:（42ページ）
音声を一時的に消音（ミュート）

※AV-IN時に「Mute/Demo」ボタンを押すと、約30秒間音声を消音（ミュート）しますが、消音（ミュート）中にGPSポイント・レーダー波受信・無線受信をすると警告/案内が優先され、警告/案内画面と共に通常レベルの音量で警告/案内のボイスが流れます。また、警告/案内終了後は、消音（ミュート）が解除されます。

設定内容

お買い上げ時の項目設定は下の表の通りになっています。各設定項目はそれぞれお客様のお好みに合わせてで設定できますが、道路選択設定を変更すると道路選択設定の持つ規定値が優先され、お客様が設定した各設定項目内容も変更されます。

設定項目	設定			選択肢	ページ
道路選択	ALL	HIGHWAY	CITY	HIGHWAY／CITYWAY／ALL	41
待受画面	標準	標準	標準	標準／時間日付／緯度経度	28
画面の明るさ	標準	標準	標準	明るい／標準／暗い	28
時報	設定	設定	設定	設定／解除	28
AAC	40km/h	40km/h	40km/h	40km/h／50km/h／60km/h／解除	41
オービス	設定	設定	設定	設定／解除	29
カーロケ	HIGH	HIGH	HIGH	HIGH／MIDDLE／LOW／解除	34
デジタル無線	設定	設定	設定	設定／解除	34
署活系無線	設定	設定	設定	設定／解除	34
WIDE無線	設定	設定	設定	設定／解除	35
救急無線	設定	設定	設定	設定／解除	35
消防無線	設定	設定	設定	設定／解除	35
消防ヘリテレ無線	設定	設定	設定	設定／解除	35
取締特小無線	設定	設定	設定	設定／解除	36
警備無線	設定	設定	設定	設定／解除	36
警察活動無線	設定	設定	設定	設定／解除	36
350.1MHz	設定	設定	設定	設定／解除	37
ヘリテレ無線	設定	設定	設定	設定／解除	37
レッカー無線	設定	設定	設定	設定／解除	37
JH無線	設定	設定	設定	設定／解除	38
レーダー感度	AUTO	AUTO	AUTO	AUTO／エクストラ／ウルトラ／スーパー	38
Nシステム	設定	設定	設定	設定／解除	29
取締ポイント	設定	設定	設定	設定／解除	29
サービスエリア	設定	設定	解除	設定／解除	30
パーキングエリア	設定	設定	解除	設定／解除	30
駐車違反取締地域	設定	解除	設定	設定／解除	30
警察署	設定	解除	設定	設定／解除	31
スピーカー音量	7（最大）	7（最大）	7（最大）	0～7	24

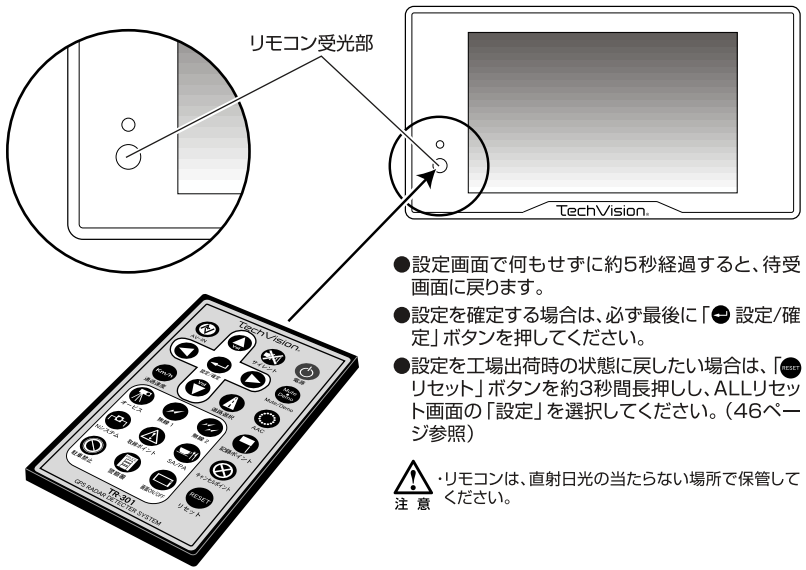
↑ 工場出荷時

全ての設定をお買い上げ時の状態に戻す場合は、リモコンの「RESET リセット」ボタンを約3秒間長押しし、ALLリセット画面で「設定」を選択してください。詳しいリセット方法は46ページを参照してください。

■リモコンの使用方法

各種設定はリモコンを使用して変更します。
リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

危険 ・運転者は運転中、操作を行なわないでください。事故の原因となり、たいへん危険です。操作の際は、車を安全な場所に停車させて行なってください。



●設定画面で何もせずに約5秒経過すると、待受画面に戻ります。

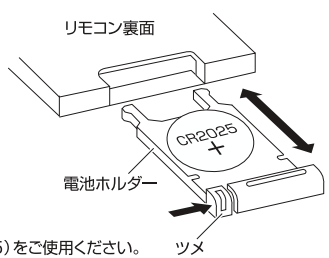
●設定を確定する場合は、必ず最後に「● 設定/確定」ボタンを押してください。

●設定を工場出荷時の状態に戻したい場合は、「RESET リセット」ボタンを約3秒間長押しし、ALLリセット画面の「設定」を選択してください。（46ページ参照）

注意 ・リモコンは、直射日光の当たらない場所で保管してください。

■リモコンの電池交換

リモコンの動作がしにくくなった時は電池を交換する必要があります。また、初めてお使いになる際も付属の電池（リチウムコイン電池 CR2025）をセットする必要があります。



電池の交換方法

1 リモコン裏面のツメを押しながら、電池ホルダーを引き出します。

2 電池ホルダーから古い電池を取り出し、新しいリチウムコイン電池CR2025を⊕が上になるようにセットします。

3 電池ホルダーを元に戻します。

注意 ・電池交換の際には、必ず指定電池（リチウムコイン電池 CR2025）をご使用ください。
・お買い上げの際に内蔵されている電池は動作確認用です。通常の電池寿命より短い場合がありますので、あらかじめご了承ください。
・電池には⊕⊖があります。間違えないように必ず確認してください。
・電池は幼児の手の届かない場所で保管してください。
・電池を火中に投じないでください。破裂するおそれがあります。
・古い電池の処理は自治体の規則に従って行なってください。

待受画面／画面の明るさ／時報機能のON/OFFを設定する

●リモコンで「●設定/確定」ボタンを押すと、待受画面の設定画面が表示されます。
●待受画面の設定画面で「▶」ボタンを押すごとに次の画面に移ります。

■待受画面を設定する

工場出荷時設定:「標準」

待受画面は3種類の中から選択することができます。
1 リモコンの「● 設定/確定」ボタンを押して、「待受画面」の設定画面を表示させます。
2 リモコンの「▲」「▼」ボタンを押して、「待受画面」を選択します。
3 リモコンの「● 設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。
例えば、「標準」に確定すると、
『♪待受画面　標準　設定しました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

■画面の明るさを設定する

工場出荷時設定:「標準」

画面の明るさを3段階から選択することができます。
1 リモコンの「● 設定/確定」ボタンを押して、「待受画面」の設定画面を表示させます。
2 リモコンの「▶」ボタンを押して、「画面の明るさ」の設定画面を表示させます。
3 リモコンの「▲」「▼」ボタンを押して、画面の明るさを選択します。
4 リモコンの「● 設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。
例えば、「明るい」に確定すると、『♪画面の明るさ　明るい　設定しました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

■時報機能のON/OFFを設定する

工場出荷時設定:「設定」

GPSにより、1時間ごとに時間をボイスでご案内する機能です。
1 リモコンの「● 設定/確定」ボタンを押して、「待受画面」の設定画面を表示させます。
2 リモコンの「▶」ボタンを2回押して、「時報設定」の設定画面を表示させます。
3 リモコンの「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
4 リモコンの「● 設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。
例えば、「設定」に確定すると、『♪時報　設定しました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

GPSデータごとの設定方法

収録されているオービス・Nシステム・取締ポイント・サービスエリア・パーキングエリア・駐車違反取締地域・警察署の警告機能について設定（=警告する）/解除（=警告しない）することができます。

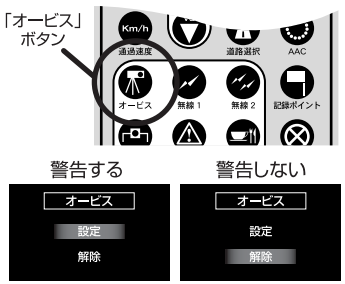
●リモコンでそれぞれのボタンを押すことで、設定画面に切り替わります。

■オービスの警告機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

オービスの警告機能の設定/解除することができます。
1 「オービス」ボタンを押して、「オービス」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「● 設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。
例えば、「設定」に確定すると、
『♪オービス　設定しました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。



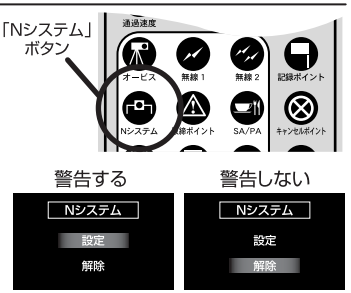
■Nシステムの警告機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

Nシステムの警告機能の設定/解除することができます。
1 「Nシステム」ボタンを押して、「Nシステム」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「● 設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。
例えば、「設定」に確定すると、
『♪Nシステム　設定しました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

注意 ・本製品のNシステムの警告はあらかじめ登録されたデータを基にされるもので、赤外線をキャッチし、警告するものではありません。あらかじめご了承ください。

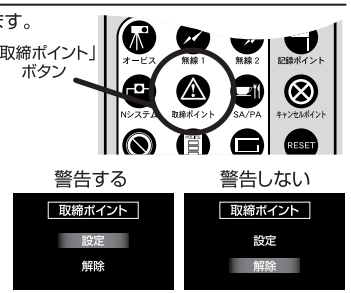


■取締ポイントの警告機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

交通取締ポイントの警告機能の設定/解除することができます。
1 「▲ 取締ポイント」ボタンを押して、「取締ポイント」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「● 設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。
例えば、「設定」に確定すると、
『♪取締ポイント　設定しました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。



■サービスエリアの案内機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

サービスエリアの案内機能の設定/解除することができます。

1 「SA/PA」ボタンを押して、「サービスエリア」設定画面を表示させます。

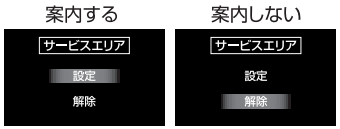
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。

3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。

例えば、「設定」に確定すると、

『 ♪サービスエリア　設定しました 』とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。



■パーキングエリアの案内機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

パーキングエリアの案内機能の設定/解除することができます。

1 「SA/PA」ボタンを2回押し、「パーキングエリア」設定画面を表示させます。

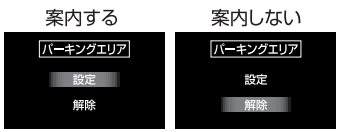
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。

3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。

例えば、「設定」に確定すると、

『 ♪パーキングエリア　設定しました 』とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。



■駐車違反取締地域の警告機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

駐車違反取締地域の警告機能の設定/解除することができます。

1 「駐車禁止」ボタンを押して、「駐車違反取締地域」設定画面を表示させます。

2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。

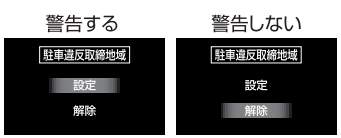
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。

例えば、「設定」に確定すると、

『 ♪駐車違反取締地域　設定しました 』とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

注意 ・本製品に登録されている駐車違反取締地域は、各都道府県によって公表されている「駐車監視員活動ガイドラインマップ」を基に作成したデータを収録しています。全ての駐車禁止地域が登録されているわけではありませんので、必ず指定の標識等に従ってください。



■警察署の警告機能を設定する

工場出荷時設定:「設定」

警察署の警告機能の設定/解除することができます。

1 「警察署」ボタンを押して、「警察署」設定画面を表示させます。

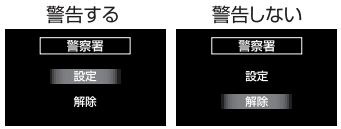
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。

3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を確定します。

例えば、「設定」に確定すると、

『 ♪警察署　設定しました 』とボイスでご案内します。

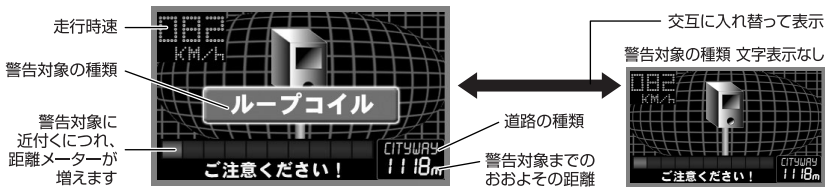
ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。



GPS警告/案内表示例

下記の画面デザインは実際のものとは異なる場合があります。

収録されているGPSポイントに近付くと、画面表示・ボイス・LEDの点灯・点滅で警告・案内します。
※道路の種類は「一般道路」と「高速道路」、カメラの位置は「正面」「右」「左」があります。



■ループコイル警告例

『1 キロ先　一般道路　ループコイルが　あります　注意してください』

『500 メートル先　一般道路　ループコイルが　あります　注意してください』

『カメラは左側です　通過速度 70 キロ 以下です』
※約 200m 手前で表示します。

■LHシステム警告例

『1 キロ先 高速道路 LH システムが　あります 注意してください』

『500 メートル先　高速道路　LH システムが あります 注意してください』

『カメラは左側です　通過速度 70 キロ 以下です』
※約 200m 手前で表示します。

■レーダー式オービス警告例

『1 キロ先 高速道路 レーダー式オービスが あります 注意してください』

『500 メートル先 高速道路 レーダー式オービスが あります 注意してください』

『カメラは左側です　通過速度 70 キロ 以下です』
※約 200m 手前で表示します。

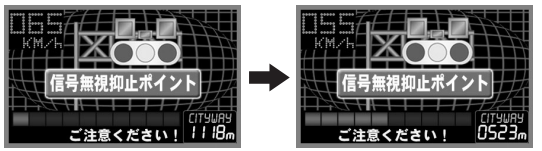
■Hシステム警告例

『1 キロ先　高速道路　H システムが あります 注意してください』

『500 メートル先 高速道路 H システムが あります 注意してください』

『カメラは左側です　通過速度 70 キロ 以下です』
※約 200m 手前で表示します。

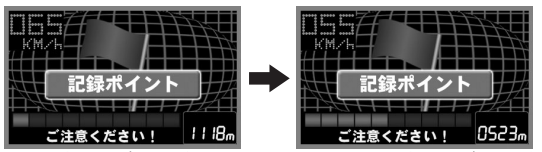
■信号無視抑止ポイント警告例



『1 キロ先 一般道路 信号無視監視システムが あります 注意してください』

『500 メートル先　一般道路　信号無視監視システムが あります 注意してください』

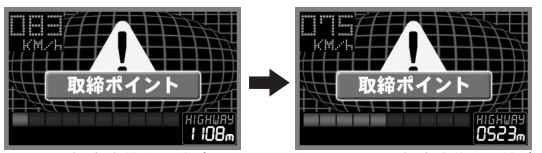
■記録ポイント案内例



『1 キロ先　記録ポイントが　あります 注意してください』

『500 メートル先　記録ポイントが あります 注意してください』

■取締ポイント案内例



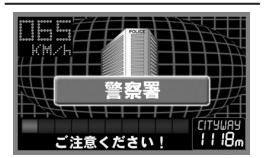
『1 キロ先 高速道路 取締ポイントが あります 注意してください』

『500 メートル先 高速道路 取締ポイントが あります 注意してください』

■Nシステム案内例

『この先　高速道路　N システムが あります』

■警察署案内例



『左方向に 一般道路 警察署が あります 注意してください』

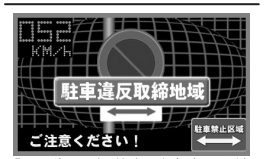
■サービスエリア案内例

『1 キロ先 高速道路 サービスエリアが あります』
※距離表示はサービスエリア入口までの距離ではなく、サービスエリア中心部までのものです。

■パーキングエリア案内例

『1 キロ先　高速道路　パーキングエリアが あります』
※距離表示はパーキングエリア入口までの距離ではなく、パーキングエリア中心部までのものです。

■駐車違反取締地域案内例



『この先　一般道路　駐車違反取締地域が あります 注意してください』
※一定時間経過後、待受画面に戻り、ミニアイコンが表示されます。

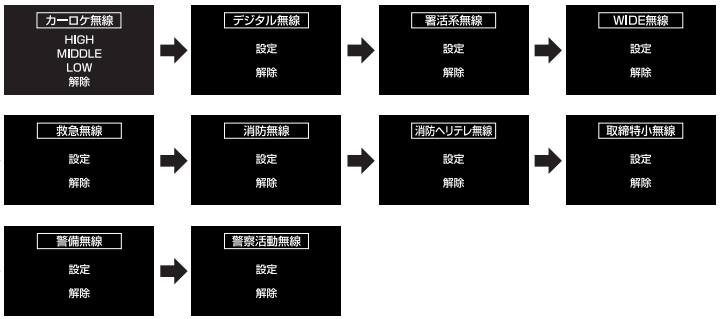
注意 通過速度表示について
・ループコイル・LHシステム・レーダー式オービス・Hシステム警告時に表示される通過速度画面での速度表示は、各取締機設置位置の約200m手前での速度を表示し、警告ポイント離反までその表示を維持します。したがって、実際に各警告ポイント位置通過時の速度は表示されません。表示後も速度超過に十分注意してください。

無線受信機能（無線1）設定

無線1の設定方法

カーロケ無線・デジタル無線・署活系無線・WIDE無線・救急無線・消防無線・消防ヘリテレ無線・取締特小無線・警備無線・警察活動無線の受信について設定します。

●リモコンで「無線1」ボタンを1回押すごとに次の画面に移ります。



■カーロケ無線の受信感度の設定/解除をする

工場出荷時設定:「HIGH」

1 「無線1」ボタンを1回押して、「カーロケ無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、受信感度を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「HIGH」に確定すると、
『 ♪カーロケ　HIGH　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信感度
HIGH　：高い
MIDDLE：普通
LOW　：低い
解除　：受信しない

■デジタル無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線1」ボタンを2回押して、「デジタル無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪デジタル無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■署活系無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線1」ボタンを3回押して、「署活系無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪署活系無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

無線受信機能（無線1）設定（…続き）

■WIDE無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線1」ボタンを4回押して、「WIDE無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪WIDE無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■救急無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線1」ボタンを5回押して、「救急無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪救急無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■消防無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線1」ボタンを6回押して、「消防無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪消防無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■消防ヘリテレ無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線1」ボタンを7回押して、「消防ヘリテレ無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪消防ヘリテレ無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

無線機能（無線1）設定（…続き）

■取締特小無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1「 無線1」ボタンを8回押して、「取締特小無線」設定画面を表示させます。
2「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪取締特小無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■警備無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1「 無線1」ボタンを9回押して、「警備無線」設定画面を表示させます。
2「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪警備無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■警察活動無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1「 無線1」ボタンを10回押して、「警察活動無線」設定画面を表示させます。
2「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪警察活動無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

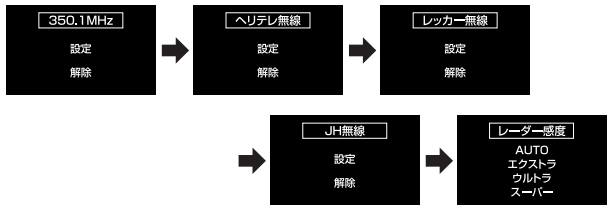
受信する

受信しない

無線受信機能（無線2）設定

無線2の設定方法

350.1MHz・ヘリテレ無線・レッカー無線・JH無線の受信およびレーダー感度について設定します。
●リモコンで「 無線2」ボタンを1回押すごとに次の画面に移ります。



■350.1MHz（取締無線）受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1「 無線2」ボタンを1回押して、「350.1MHz」設定画面を表示させます。
2「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪350.1メガ　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■ヘリテレ無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1「 無線2」ボタンを2回押して、「ヘリテレ無線」設定画面を表示させます。
2「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪ヘリテレ無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■レッカー無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1「 無線2」ボタンを3回押して、「レッカー無線」設定画面を表示させます。
2「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪レッカー無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

無線受信機能（無線2）設定（…続き）

■JH無線受信の設定/解除をする

工場出荷時設定:「設定」

1 「無線2」ボタンを4回押して、「JH無線」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」または「解除」を選択します。
3 「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「設定」に確定すると、
『 ♪JH無線　設定しました 』とボイスでご案内します。

受信する

受信しない

■レーダー感度を設定する

工場出荷時設定:「AUTO」

AUTO（オート感度）・エクストラ（高感度）・ウルトラ（普通感度）・スーパー（低感度）の4段階から選択して設定します。

1 「無線2」ボタンを5回押して、「レーダー感度」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、お好みのレーダー感度を選択します。
3 「⊖設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。

例えば、「AUTO」に確定すると、
『 ♪レーダー感度　オート　設定しました 』とボイスでご案内します。

レーダー感度ごとの感度レベル

感度	感度レベル
AUTO	車速情報により、自動切替
エクストラ	高感度
ウルトラ	普通感度
スーパー	低感度

AUTO設定時の感度レベル

速度（車速情報）	感度	感度レベル
51km/h以上	エクストラ	高感度
31～50km/h	ウルトラ	普通感度
30km/h以下	スーパー	低感度
未測位	エクストラ	高感度

※未測位とは、GPSサーチ中・電源ON直後の状態です。

無線識別受信表示

無線識別受信表示例

無線を受信した場合、画面表示・ボイス・LEDの点灯で警告します。尚、これらの無線は個別にON/OFF設定が可能です。カーロケ受信時は電波の状況で「受信」・「接近中」・「遠ざかりました」と3段階表示します。

■カーロケ

『500m以内 カーロケ受信しました』　『カーロケ 接近中』　『カーロケ 遠ざかりました』

※カーロケを受信すると、30秒ごとに受信の有無を再確認します。受信を確認すると「カーロケ　接近中」の案内をし、受信が確認できなくなった場合は「カーロケ 遠ざかりました」の案内をします。
※一定時間経過後、待受画面に戻り、ミニアイコンが表示されます。

■デジタル無線

『デジタル無線 受信しました』

■署活系無線

『署活系無線 受信しました』

■WIDE無線

『WIDE無線 受信しました』

■救急無線

『救急無線 受信しました』

■消防無線

『消防無線 受信しました』

■消防ヘリテレ無線

『消防ヘリテレ無線 受信しました』

■取締特小無線

『取締特小無線 受信しました』

■警備無線

『警備無線 受信しました』

■警察活動無線

『警察活動無線 受信しました』

無線識別受信表示（…続き）

■350.1MHz

『350.1メガ　受信しました』

■ヘリテレ

『ヘリテレ無線　受信しました』

■レッカー無線

『レッカー無線　受信しました』

■JH無線

『JH無線　受信しました』

注意
・画面デザインは、実際のものとは異なる場合があります。
・一定時間経過後、待受画面に戻ります。
・無線受信中にリモコンの「Mute/Demo」ボタンを押すと、一定時間音声はキャンセルされます。約30秒無線受信がないと、自動的にミュートは解除されます。
・無線を連続的に受信しますと、オートミュート機能が働き、一定時間音声は消音されます。

レーダー波受信表示例

レーダー波およびステルスを受信した場合、警告します。
※レーダー波が反対車線のものの場合は、画面表示およびLED（青）の点滅のみでお知らせし、アラーム・ボイスは出ません。
※一定時間警報が続くと、自動的に消音（オートトーンダウン）します。（43ページ参照）

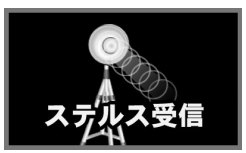
■レーダー波

アラームとともに、画面表示・ボイス・LED（青）の点滅で警告します。

レーダー波が強くなるにつれ、アラームとLED（青）の点滅ピッチも早くなります。

■ステルス

画面表示・ボイス・LED（青）の点滅で警告するとともに、



『♪ステルスを　受信しました』とボイスで警告後、
ステルス専用アラームで警告します。

その他の設定

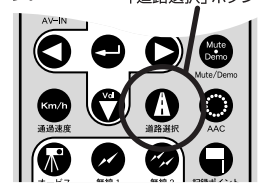
GPS対象道路の設定

工場出荷時設定:「ALL」

取締機やGPSポイントの警告/案内の対象を「HIGHWAY」・「CITYWAY」・「ALL」から選択することができます。

HIGHWAY	高速道路に設置されたGPS警告/案内をする
CITYWAY	一般道路に設置されたGPS警告/案内をする
ALL	全てのGPS警告/案内をする

1 「道路選択」ボタンを押して、「道路選択」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「HIGHWAY」・「CITYWAY」・「ALL」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。
例えば、「HIGHWAY」に確定すると、
『♪道路選択　ハイウェイモード　設定しました』
とボイスでご案内します。



高速道路が対象

一般道路が対象

全てが対象

※一定時間経過後、待受画面に戻り、ミニアイコンが表示されます。
HIGH：「HIGHWAY」
CITY：「CITYWAY」
ALL：「ALL」

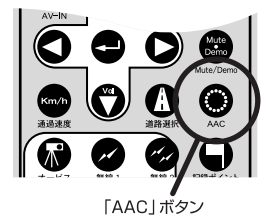
ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

注意
・道路選択設定を変更すると、各道路選択設定の持つ規定値が優先され、任意で設定した内容は規定値に変更されます。（26ページ参照）

AAC（オートアラームカット）の設定

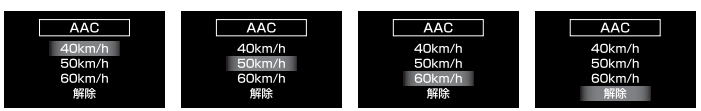
工場出荷時設定:「40km/h」

GPSの車速データを基に、設定速度以下のレーダー受信警報音をカットすることができます。
1 「AAC」ボタンを押して、「AAC」設定画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「40km/h」・「50km/h」・「60km/h」・「解除」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、設定を保存します。
例えば、「40km/h」に確定すると、
『♪AAC　40キロ　設定しました』
とボイスでご案内します。



注意
・AAC機能は、GPSを測位している時のみ有効です。
・AAC機能は、レーダー受信警報音をカットするもので、GPS・無線警報音はカットできません。

		LED	
		設定値以下の速度で走行	設定値を超える速度で走行
40km/h	40km/h以下での走行中は、レーダー受信警報音をカット	赤色LED点灯	緑色LED点灯
50km/h	50km/h以下での走行中は、レーダー受信警報音をカット		
60km/h	60km/h以下での走行中は、レーダー受信警報音をカット		
解除	走行速度に関係なく、レーダー受信警報音が鳴る	緑色LED点灯	



ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

■警報音の一時的な消音（ミュート）

無線受信中およびレーダー波受信中の警報音を手動で消音（ミュート）することができます。

※イベント発生中（各警告画面表示中）に「Mute/Demo」ボタンを押すと、約30秒間消音（ミュート）することができます。
※消音（ミュート）中に同一イベントが発生すると、約30秒間消音（ミュート）が延長されます。
※消音（ミュート）中に各種設定画面を表示すると、消音（ミュート）は解除されます。
※消音（ミュート）よりも長く消音したい場合は、「サイレント」ボタンで約5分間完全に消音することができます。

■サイレントモード機能

GPS警告・レーダー・各種無線受信の際に、音声警告を行なわず画面だけでお知らせするように設定することができます。

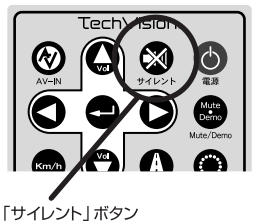
※サイレントモードの状態の時には、標準待受画面にミニアイコンが表示されます。

「サイレント」ボタンを押します。

『 ♪サイレントモード 設定しました 』とボイスでご案内します。

もう一度「サイレント」ボタンを押すと解除されます。

※サイレントボタンを押さなくても、約5分後、サイレントモードは自動的に解除されます。



■通過速度の確認

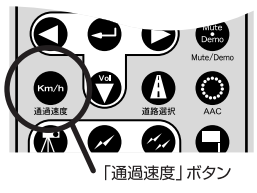
最後に通過した取締機の通過速度を確認することができます。

注意 ・通過履歴がない場合は、お知らせしません。
・電源を切ると通過速度データは消去されます。その際は通過速度は確認できませんので、あらかじめご了承ください。

「通過速度」ボタンを押します。取締機の通過履歴があると、

『 ♪通過速度 ○○キロ 以下です 』とボイスでご案内します。

通過履歴がない場合は、『ピピッ』と音が鳴ります。



■反対車線のレーダー式取締機・Hシステム警告を自動キャンセル

反対車線にレーダー式オービス・Hシステムがある場合、警告音を自動的にキャンセルします。

※画面にはレーダー受信画面が表示され、LEDによる表示は通常通り行なわれます。

注意 ・この機能は、次の条件を満たす場合にのみ働きます。
【範囲】反対車線取締機の前後500mの区間
【速度】一般道路60km/h・高速道路80km/h以下で走行中

■オートトーンダウン

レーダー波やステルス波を受信した際は、一定時間の警告後、警告音を自動的にトーンダウンします。

■オートミュート

各種無線を連続受信した際は、一定時間の警告後、警告音を自動的にカットします。

■日付け案内

電源ON後、GPSを測位すると、『 ♪○月 ○日 ○曜日です 』とボイスでご案内します。

■時報案内

1時間ごとに時報をお知らせします。

『 ♪午後○○時です 』とボイスでご案内します。

■画面の非表示

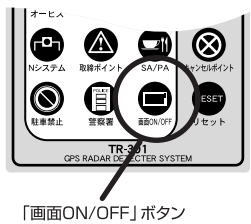
画面表示のみを完全にOFFし、音声のみにすることができます。

画面が表示されている状態で、リモコンの「画面ON/OFF」ボタンを押します。画面の非表示が設定できると、

『 ♪画面OFF 設定しました 』とボイスでご案内します。

画面が非表示の状態で、もう一度リモコンの「画面ON/OFF」ボタンを押すと画面が表示され、

『 ♪画面ON 設定しました 』とボイスでご案内します。



注意 ・電源をOFFにすると、画面の非表示は解除されます。

■デモモードの再生

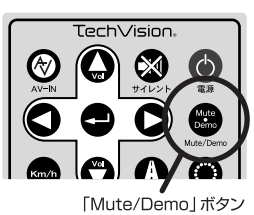
本製品の警告機能等を一通り再生（デモンストレーション）することができます。

注意 ・デモンストレーション中は全ての警告動作が中止されます。
・手動で終了させない限り、デモンストレーションし続けます。

1 待受画面の状態で「Mute/Demo」ボタンを約5秒間長押しすると、デモンストレーションが始まります。

2 デモンストレーションを止めたい時は、再度「Mute/Demo」ボタンを約5秒間長押しするとデモンストレーションが中止し、通常の動作に戻ります。

※デモモードのままで電源をOFFにした場合、次に電源ONをした時もデモモードは継続されます。



GPSポイントの登録

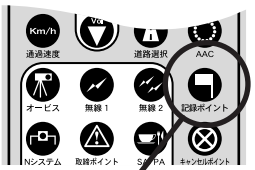
■記録ポイントの登録・消去

新たに設置された取締機等、注意が必要な場所を最大56箇所まで登録・消去できます。

注意 ・この機能はGPS測位中のみ利用できます。GPS未測位時は『♪GPSを測位できません』とボイスでご案内します。
・56箇所を超えた場合は、56箇所目が更新されます。
・AV-IN時は利用できません。

登録

登録したい場所で「記録ポイント」ボタンを押します。
登録できると、
『♪記録ポイント 記録しました』とボイスでご案内します。



「記録ポイント」ボタン

注意 ・記録ポイントは登録する位置情報の他に、方向も記録されます。上り方向で登録した場合は、下り方向では案内されません。

消去

記録ポイントで右の画面表示中に「記録ポイント」ボタンを押すと、記録ポイントが消去できます。記録ポイントが消去できると、
『♪記録ポイント 消去しました』とボイスでご案内します。

記録ポイントでは
上の表示になり、ボイスでご案内します。

■レーダーキャンセルポイントの登録・消去

電波式の自動ドア・信号機付近の車両通過計測器からの誤警報を最大56箇所までカットすることができます。

注意 ・この機能はGPS測位中のみ利用できます。GPS未測位時は『♪GPSを測位できません』とボイスでご案内します。
・56箇所を超えた場合は、56箇所目が更新されます。
・AV-IN時は利用できません。

登録

レーダー誤受信中に「キャンセルポイント」ボタンを押します。
登録できると、
『♪レーダーキャンセルポイント 記録しました』
とボイスでご案内します。

「キャンセルポイント」ボタン

消去

レーダーキャンセルポイントで右の画面表示中に「キャンセルポイント」ボタンを押すと、登録したポイントが消去できます。
記録ポイントが消去できると、
『♪レーダーキャンセルポイント 消去しました』
とボイスでご案内します。

レーダーキャンセルポイントでは
上の表示になります。音声は出ません。

■オリジナルポイントのキャンセル（GPSポイントのキャンセル）

工場出荷時に登録されているオリジナルポイント（GPSポイント）を消去することができます。（GPS取締機が撤去された場合等に使用します。）

注意 ・この機能はGPS測位中のみ利用できます。GPS未測位時は『♪GPSを測位できません』とボイスでご案内します。
・AV-IN時は利用できません。

消去

GPS警告中に「記録ポイント」ボタンを押します。消去できると、
『♪オリジナルポイント 消去しました』とボイスでご案内します。

「記録ポイント」ボタン

GPSポイントの一括消去

■記録ポイントの一括消去

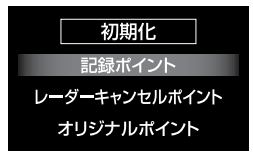
登録した記録ポイントを一括で消去することができます。

注意 ・一度消去した記録ポイントは復元できませんので、消去の際は十分ご注意ください。

1 「リセット」ボタンを押して、「初期化」画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「記録ポイント」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、一括消去します。
『♪記録ポイント 消去しました』とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

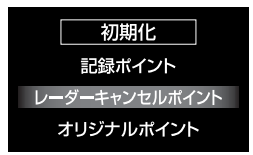
「リセット」ボタン



■レーダーキャンセルポイントの一括消去

登録したレーダーキャンセルポイントを一括で消去することができます。

注意 ・一度消去したレーダーキャンセルポイントは復元できませんので、消去の際は十分ご注意ください。



1 「リセット」ボタンを押して、「初期化」画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「レーダーキャンセルポイント」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、一括消去します。
『♪レーダーキャンセルポイント 消去しました』とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

■オリジナルポイントの復元（GPSポイントの復元）

キャンセルしたオリジナルポイント（GPSポイント）を復元し、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1 「リセット」ボタンを押して、「初期化」画面を表示させます。
2 「▲」「▼」ボタンを押して、「オリジナルポイント」を選択します。
3 「設定/確定」ボタンを押して、出荷時の状態に戻します。
『♪オリジナルポイント リセットしました』
とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

工場出荷時への完全初期化

設定の完全初期化

本製品の状態を工場出荷時の状態に戻すことができます。
工場出荷時の設定内容については、26ページを参照してください。

注意 ・お客様によって設定された内容は、全て消去されてしまいますので、ご注意ください。

1 「RESET リセット」ボタンを約3秒間長押ししてください。

2 「▲」「▼」ボタンを押して、「設定」を選択します。

3 「● 設定/確定」ボタンを押した時に、完全初期化します。

『♪ オールリセット　完了しました 』とボイスでご案内します。

ボイス案内終了から約5秒後、待受画面に自動的に戻ります。

※ALLリセットしない場合は、「解除」を選択し、確定させてください。

その他

GPSデータの更新

本製品には、あらかじめ速度取締機・Nシステム・取締ポイント・サービスエリア・パーキングエリア・駐車違反取締地域・警察署のデータが収録されています。
最新のGPSデータへの更新をご希望のお客様は当社「レーダーデータ更新」係までメインボックスと保証書をお送りいただくか、ご購入いただいた販売店へお持ちください。当社受付後、約10日間前後で更新完了品をご返送いたします。
尚、GPSデータ更新の際には、お客様による各種設定および登録ポイント等のデータは消去され、工場出荷時の状態に戻りますので、あらかじめご了承ください。

当社へ直接ご依頼いただく場合

【GPSデータ更新費用】
税込4,095円（代引手数料込み返送料／一部離島を除く）＋ 送料（お客様→当社）

【メインボックス送付先】
ヤック株式会社　レーダーデータ更新係
〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL.0564-66-0773　受付時間:月～金（祝祭日除く）9:30～17:30

※メインボックス・保証書をお送りいただく際の方法は問いませんが、その際にかかる当社までの送料はお客様がご負担ください。着払いでの送付は受け付け致しかねます。
※更新作業を完了した製品は、代引きでのお届けに限らせていただきます。製品お届け時に配達員に税込み4095円（一部離島を除く）をお支払いください。

※販売店に持ち込まれる際のGPSデータ更新費用は依頼する窓口によって異なりますので、事前にご確認の上、ご依頼ください。
※GPSデータ更新のタイミングにつきましては、当社ホームページ内でご確認いただくか、ユーザー登録をしていただく2つの方法がございます。ユーザー登録していただきますと、お客様のお買い上げ時のGPSデータに最適なご案内が可能となりますので、必ずユーザー登録をしていただくようにお願い致します。

ユーザー登録

本製品に付属のユーザー登録ハガキに必要事項を記入の上、個人情報記入欄に目隠しシールを貼ってカバーし、ご投函ください。GPSデータ更新等の各種ご案内をさせていただきます。
尚、ご記入いただきました個人情報は、製品保証・修理等に関するサポートにのみ利用させていただきます。また、法律に準じて安全に管理し、法律・法令により開示を請求された場合を除き、お客様の事前承諾なしに第三者に開示することはありません。

ユーザー登録は、当社ホームページ内でもしていただくことが可能です。
ヤックホームページ内レーダーユーザー登録サイトへは以下のアドレスからお入りください。

http://www.yacjp.co.jp/radar/user

ユーザー登録画面へのログインには同封のユーザー登録はがきに記載のログインIDとパスワード、シリアル番号（パッケージ・メインボックス・ディスプレイに添付）の登録が必要です。

注意 ・携帯電話からはサイトへアクセス・登録できませんので、ご了承ください。

修理または点検をご依頼いただく際に

保証期間内（お買い上げ日より1年間）の場合は、商品と必要事項が漏れなく記入された保証書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。
保証期間を過ぎてしまった場合は、お客様のご要望により、有償にて修理いたします。

注意 ・保証書に販売店印のない場合は無効となりますので、ご了承ください。

異常を感じたら、修理のご依頼前に次のことをもう一度お調べください。

電源が入らない	●配線が正しくされていない。→もう一度、取付方法を確認してください。（19〜21ページ） ●メインボックスのスイッチがOFFになっている。 →メインボックスのスイッチをONにしてください。（23ページ） ●電源コードのヒューズが切れている。 →ショートしている可能性があります。お買い上げの販売店もしくは当社お客様相談室までご相談ください。 ●シガープラグが奥まで差し込まれていない。 →奥までしっかりと差し込んでください。（20ページ） ●ワンタッチコネクタが接触不良。 →ワンタッチコネクタを一度はずしてはめ直し、通電を確認してください。（21ページ）
音が鳴らない 音が小さい	●スピーカーケーブルが正しく接続されていない。 →取付方法を確認してください。（19ページ） ●サイレントモードになっている。→サイレントモードを「解除」してください。（42ページ） ●音量が小さく設定されている。→音量調整を行なってください。（24ページ） ●AACが機能している。→設定スピードを低くするか、「解除」してください。（41ページ） AV-IN時の音がしない、もしくは小さい。 ●AV入力機器側の音量が小さく設定されている。 →AV入力機器側のボリューム調整を行なってください。 ●RCAケーブルが正しく接続されていない。 →取付方法を確認してください。（25ページ） GPS警告音/各種無線警告音が鳴らない。 ●GPS・各種無線警告/案内が「解除」になっている。 →設定画面で確認してください。（29〜31・34〜38ページ）
画面が表示されない	●ディスプレイケーブルが正しく接続されていない。 →取付方法を確認してください。（19ページ） ●画面表示設定が「OFF」になっている。 →画面表示設定を「ON」にしてください。（43ページ） ●リモコンを使用して電源OFFしている。 →リモコンを使用して電源ONしてください。（23ページ） AV-IN画面が表示しない。 ●RCAケーブルが正しく接続されていない。 →取付方法を確認してください。（25ページ） GPS警告音/各種無線警告表示が表示されない。 ●メインボックスとアンテナが正しく接続されていない。 →取付方法を確認してください。（19ページ） ●GPS測位していない。 →障害物のない場所でGPS測位を行なってください。
取締りがされていないが反応する	●取締りレーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用した機器が近くにある。 ※警報が働いてしまう主な機器の種類 電波式の自動ドア・防犯センサー／車両通過計測器部／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー・航空レーダーの一部／他のレーダー探知器 ●車内から出ている電波に干渉している。 →これらの症状は故障ではありませんので、ご了承ください。
取締りがされているが反応しない	●新しいオービスのため、反応しない。→新設されたポイントのため反応しません。 ●道路選択設定が適切でない。 →適切な道路選択を行なってください。（41ページ） （例.道路選択設定がHIGHWAYだと一般道路のGPSポイントには反応しません。） ●取締り準備中・終了後等で、取締機からレーダー波が照射されていない場合があります。 ●取締りが「レーダー方式」の取締機を使用していなかった可能性があります。

以上の内容を確認しても異常のある場合は、次の方法をお試しください。
→メインボックスの電源をON/OFFする。
→シガーライターソケットから電源を取っている場合、シガープラグを抜き差しする。
→車両側のACCから直接電源を取っている場合、車のエンジンをかけ直す。

それでも改善がみられない場合は、お買い上げの販売店もしくは当社お客様相談室までご相談ください。

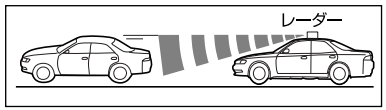
スピード違反の取締り方法

スピード違反の取締り（速度の測定）方法には、次の3つの方法があります。

●白バイ・パトカーによる追尾方式

【パトカー車載レーダー】

パトカー上部に設置して停車・走行しながら取締りレーダー波を照射し、速度を測定する方法です。



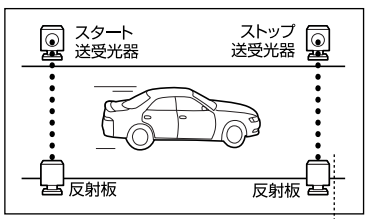
【スピードメーター搭載式】

白バイやパトカーにスピードメーターの指針を固定できる取締り用スピードメーターを搭載し、対象の車を追走して速度を測定する方法です。

注意 ・スピードメーター搭載式の追尾方式は電波を出していないため、受信・警告できません。

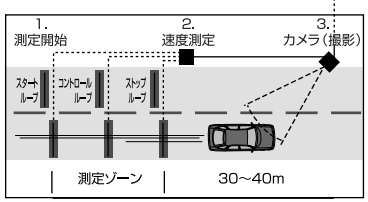
●距離と時間から速度を算出する方法

車が一定区間を通過する時間を測定してその車の速度を算出する方法です。測定区間の始めと終わりに設定するセンサーには、赤外線や光電管、ワイヤー式（ループ式）等があります。



【ループコイル式LHシステム】

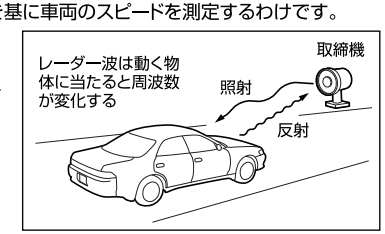
6.9mの速度測定区間の地中に3本のコイルが埋め込まれており、この区間を何秒で通過したかによって、スピードが割り出され、違反車はカメラで撮影される方式。
一般的にフィルム式カメラを使用するのがループコイル式、CCDカメラを使って写真を電送するのがLHシステムと呼ばれます。



●レーダー波（マイクロ波）を使用して速度を算出する方法

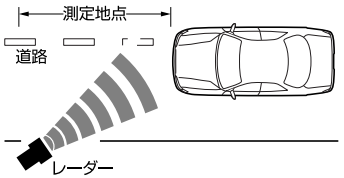
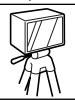
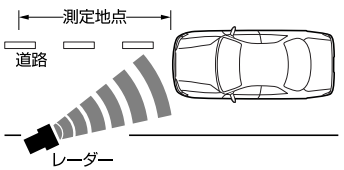
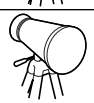
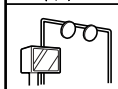
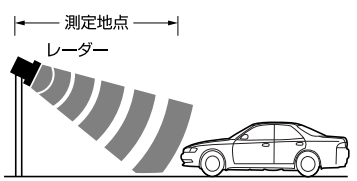
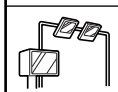
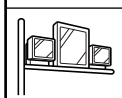
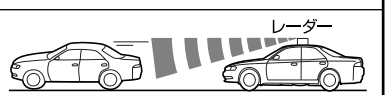
レーダーにはレーダー波（あるいはマイクロ波）と呼ばれる周波数の高い電波が使われています。電波は周波数が高くなるほど直進性が増し、指向性が高くなります。この周波数の高いレーダー波は、動く物体に反射するとその周波数を変化させるという特性を持っていて、それはドップラー効果と呼ばれています。そのドップラー効果を利用して、走行車両の速度を測定するのがレーダー式取締機です。取締機の送受信部から照射されたレーダー波の周波数が変化して戻ってきます。この照射されたレーダー波は、走行車両に反射し、周波数の差を基に車両のスピードを測定するわけです。

レーダー方式には、測定装置を道路際に固定して測定する方法と、パトカーに搭載して移動しながら測定する方法があります。現在スピード違反の取締りは、主にマイクロ波（電波）を利用した「レーダー方式」が採用されています。



取締りレーダーの種類

本製品は下記の取締りレーダー波に反応します。

取締りレーダーの種類・名称		取締り方法
	27°垂直偏波	
	27°水平偏波	
	5°垂直偏波	
	円偏波	
	ステルス	
	オービス 垂直偏波 カメラ付取締機	
	オービス 水平偏波 カメラ付取締機	
	新型無人取締機 （新Hシステム）	
パトカー車載レーダー	パトカー上部に設置し、停車・走行しながら速度を計測する。	

【ステルス】

待機中には取締りレーダー波を照射せず、違反車と思われる車両が速度測定ゾーンに接近した時、数秒間だけ電波を照射し、走行速度を測定できる取締り機です。計測にあたる警察官が特定車両を狙い撃ちでき、電波の照射は極めて短時間です。

【新型無人取締機（新Hシステム）】

速度の測定や証拠写真の撮影を自動的に行なう無人速度取締機で、「新型オービス」とも呼ばれます。周波数は通常の取締りレーダー波と同じXバンドですが、非常に短い周期で照射（100万分の0.5秒）と停止（100万分の2.5秒）を繰り返す断続波で、しかも指向性が強く、受信されにくい性質を持っています。

主な仕様

■メインボックス

電 源 電 圧：DC12／24V
最大消費電流：約300mA
動作温度範囲：−10℃〜+65℃
サ　イ　ズ：約77（W）×16（D）×55（H）mm
A V - I N：音声）モノラル
　　：映像）NTSC方式1V（p-p）・75Ωコンポジット信号

■アンテナ

動作温度範囲：−10℃〜+65℃
サ　イ　ズ：約69（W）×22（D）×51（H）mm
コ ー ド 長：約3.0m

【GPS受信部】
受 信 方 式：1575.42MHz（±1MHz）
受信周波数：16chパラレル受信
　　：−150dBm（Tracking）

【レーダー受信部】
検 出 方 式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
検出周波数：Xバンド 10.525GHz／ Kバンド 24.200GHz

【レシーバー部】
検 出 方 式：ダブルスーパーヘテロダイン方式
検出周波数：UHF 330〜470MHz帯／VHF 154〜162MHz帯

【受信無線方式】
カーロケ無線／署活系無線／WIDE無線／救急無線／消防無線／消防ヘリテレ無線／取締特小無線／警備無線／警察活動無線／350.1MHz／ヘリテレ無線／レッカー無線／JH無線

■ディスプレイ

表　示　部：2.8インチ IPS液晶
動作温度範囲：−10℃〜+65℃
サ　イ　ズ：約93（W）×11（D）×54（H）mm
コ ー ド 長：約3.0m
画　　角：水平 約160°／垂直 約160°
解　像　度：400×240pixel（RGB）
明　る　さ：約350cd/m²

■スピーカー

スピーカー出力：約0.5W
動作温度範囲：−10℃〜+65℃
サ　イ　ズ：約30（W）×11（D）×34（H）mm
コ ー ド 長：約3.0m

■リモコン

使 用 電 池：リチウムコイン電池 CR2025×1
動作温度範囲：−10℃〜+65℃
サ　イ　ズ：約54（W）×7（D）×86（H）mm

保証規定

■本製品について、下記の保証規定により、品質の保証をいたします。

1. 正常なご使用状態において、製造上の不備による故障については、お買い上げの日から1年間無償にて修理・調整申し上げます。尚、ご使用中に生じる磨耗やキズ等の外観上の変化については保証外とします。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
   - イ. 誤用・乱用および取扱い不注意による故障
   - ロ. 火災・地震・水害および盗難等の災害による故障
   - ハ. 不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
   - ニ. 使用中に生じたキズ等外観上の変化
   - ホ. 消耗品および付属品の交換
   - ヘ. インターネットオークションで購入し、販売店欄に記入がないもの
3. 日本国内においてのみ有効です。

お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または当社までお問い合わせください。

■保証に関しての注意事項

- ●保証書の再発行はいたしません。記載事項の内容をご確認の上、大切に保管してください。
- ●下記保証書の販売店名・お買い上げ日等の所定事項に記入がないものは無効となります。万一記載がない場合は、販売店にお申し出ください。
- ●商品発送の際は、保証書を同封してください。

ヤック 株式会社
〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL http://www.yacjp.co.jp

商品に関するお問い合わせは…
お客様相談室 0564-66-0773（直通）
受付時間:月～金（祝祭日除く）9:30～17:30

キ リ ト リ

保証書

（保証規定の内容により、無料で修理および調整を行なうことをお約束するものです。）

保証期間：お買い上げ日より1年間

無効

商品名：GPSセパレートレーダー　　品番：TR-301

お買い上げ日：　　年　　月　　日　　シリアル番号：TR301-S/N

お客様名：

ご 住 所：〒　　ー

電話番号：　　（　　）

販売店名：

住　　所：〒　　ー

電話番号：

ヤック 株式会社
〒444-8516 愛知県岡崎市日名西町3番地
TEL 0564-24-2421・FAX 0564-24-2827
URL http://www.yacjp.co.jp

商品に関するお問い合わせは…
お客様相談室 0564-66-0773（直通）
受付時間:月～金（祝祭日除く）9:30～17:30